intuos 3

ユーザーズガイド
for Windows® / Macintosh®

ペンを使う
ペンのカスタマイズ
トラブルシューティング
タブレットを使う
タブレットのカスタマイズ
デジタルインク
マウスを使う
マウスのカスタマイズ
ポップアップメニューのカスタマイズ
特定のアプリケーションに対する設定

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

Wacom、Intuos は、株式会社ワコムの登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国のおける登録商標あるいは商標です。

Apple、Apple ロゴ、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、及び本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Intuos® 3 ユーザーズガイド for Windows®/Macintosh®

2007 年 9 月 第 4 版発行

© 2004-2007 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

目　次

目　次 3
本書について 5
本書の使い方 6
Intuos3 を使う 7
Intuos3 タブレットの機能 8
Intuos3 入力デバイス 9
Intuos3 オプションデバイス 10
姿勢と作業環境を整える 11
グリップペンを使う 12
　ペンの持ち方 12
　ポインタの移動 13
　クリック 14
　ドラッグ 14
　サイドスイッチを使う 15
　筆圧を使って描画する 16
　傾きを使って描画する 16
　消しゴム 17
　画面を見ながらペンを使う 18
マウスを使う 19
エアブラシとマーカーを使う 20
タブレットを使う 21
　ファンクションキーを使う 22
　トラックパッドを使う 23
コントロールパネルの使い方 24
コントロールパネルを開く 24
コントロールパネル概要 25
コントロールパネルの設定 26
　ペンのカスタマイズ 27
　　ペン先の感触とダブルクリックの調整 28
　　消しゴムの感触を調整する 29
　　ペン先と消しゴムの詳細な設定 30
　　サイドスイッチのカスタマイズ 31
　　ボタン機能 32
　　傾きのカスタマイズ 37
　マウスのカスタマイズ 38
　　マウスボタンのカスタマイズ 38
　　マウスホイールのカスタマイズ 39
　タブレットを画面にマッピングする 40
　　ペンモード 40
　　マウスモード 41
　　タブレットの向き 41
　　表示エリア 42
　　縦横比を保持 43
　　タブレット入力エリア 44
　　複数モニタへのマッピング 45
　ファンクションのカスタマイズ 46
　　ファンクションキーのカスタマイズ 47
　　トラックパッドのカスタマイズ 48
　　トラックパッドの詳細設定 51
　ポップアップメニューのカスタマイズ 52
　マッピング画面切り替え機能を使う 53
　複数デバイスでの作業 54
　特定のアプリケーションに対する設定 55
　　特定のアプリケーションに対する設定を作成する 56
　　特定のデバイスとアプリケーションに対する設定を変更する 57
　　特定のアプリケーションに対する設定を削除する 57
トラブルシューティング 58
タブレットのテスト 59
入力デバイスのテスト 60
　ファンクションキーのテスト 61
　トラックパッドのテスト 61
　ペンのテスト 62
　マウスのテスト 63
トラブルシューティング情報 64
　一般の問題 64
　Windows の問題 67
　Macintosh の問題 68
テクニカルサポート 69
ドライバのダウンロード 70
付録 71
タブレットとデバイスのお手入れ 71
　芯を交換する 72
タブレットドライバのアンインストール 72
タブレットモードの変更 73
複数タブレットの設置 73
Intuos3 レンズカーソル 74
　レンズカーソルのカスタマイズ 75
　レンズカーソルの診断 75

AutoCAD での作業 76
Wintab と互換性のあるデジタイザに対する AutoCAD の設定 76
AutoCAD におけるタブレットメニューとスクリーンポインティングエリアの設定 77
AutoCAD での Intuos3 の位置調整 78
Windows Vista でのペン入力機能 79
Windows Vista Tablet PC 入力パネルについて 80
製品仕様 81
Intuos3 タブレット共通の仕様 81
Intuos3 PTZ-431W タブレット 81
Intuos3 PTZ-630 タブレット 81
Intuos3 PTZ-631W タブレット 82
Intuos3 PTZ-930 タブレット 82
Intuos3 PTZ-1231W タブレット 82
Intuos3 グリップペン (ZP-501E) 82
Intuos3 マウス (ZC-100) 82
Intuos3 エアブラシ (ZP-400E) 82
Intuos3 インクペン (ZP-130) 83
Intuos3 マーカー（ZP-600） 83
Intuos3 クラシックペン（ZP-300E） 83
Intuos3 レンズカーソル（ZC-210） 83
製品情報 83
部品と付属品の注文 84
他の部品と付属品 85
製品の保証について 86
ハードウェアの保証 86
タブレットドライバについて 87
用　語 88
索　引 90

本書について

本書は、Intuos3 に関する情報を即座に入手することができます。ヘッダとフッタにあるナビゲーションボタン、または青色にハイライトされた単語をクリックすると、ページを読み進めることができます。

本書に記載される情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り、Windows の画面を使用しています。

- 目　次 では、目次の項目をクリックすると、目的の章や項目へ移動することができます。
- Intuos3 を使うでは、Intuos3 の使い方を習得します。Intuos3 タブレットの多くの機能が紹介されています。タブレットのさまざまな機能、各 Intuos3 デバイスの特徴と機能を説明しています。初めて利用する方たちには、Intuos3 の使い方の練習になります。
- コントロールパネルの使い方では、コントロールパネルの変更方法を説明しています。使いやすいように、Intuos3 タブレットとデバイスを設定します。
- トラブルシューティングでは、タブレットと入力デバイスのテストおよびトラブルシューティングの情報が記載されています。トラブルシューティング情報 で、多くの共通した質問に対する答えが見つけられます。
- 付録には、タブレットとそのほかの機器のお手入れについて、ソフトウェアのアンインストール方法、ライセンス、保証などさまざまな情報が掲載されています。AutoCAD で作業するときに役立つ情報や Windows Vista でみられる新しいペンとデジタルインク機能の概要が掲載されています。コンピュータに複数のタブレットを接続している場合、複数タブレットの追加と使い方についての説明を参考にしてください。

補足：本書では、タブレットのインストールに関する情報は、記載しておりません。ワコムタブレットのインストールについては、製品に付属する「ユーザーズガイド (紙の取扱説明書)」、およびドライバ CD にある自動ソフトウェアインストーラを参照してください。

オンラインマニュアルを初めて利用する場合、本書の使い方を読んで確認してください。

- 「」で囲まれた文字は、ダイアログボックス、コントロールパネル等のオプションの名前を特定するのに使用しています。
- 表示画面のマニュアルのサイズを大きくするには、ビューアのズームインツールを使用してください。
- 次のような情報は、この製品には含まれておりません。特定のコンピュータハードウェア、オペレーティングシステム、アプリケーションソフトウェアに関する情報です。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、アプリケーションに付属するマニュアルをお読みください。
- 多くのグラフィックアプリケーションには、筆圧、傾き、エアブラシシミュレーション、Intuos3 マウスのスクロール機能のような Intuos3 機能へのサポートが組み込まれています。これらの機能をサポートするアプリケーションについては製品情報をご覧ください。アプリケーションで、Intuos3 の機能を最大限に活用する方法については、アプリケーションについてのマニュアルの説明をご覧ください。

本書の使い方

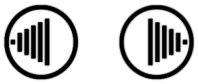
次のボタンやテキストをクリックして、ページを移動させます。

表紙へ移動します。

目次 目次のはじめへ移動します。

索引 索引のはじめへ移動します。

見た順に表示を戻ります。

 ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

セクションの開始 セクションの初めに戻ります。

トピック トピックへ移動します。

次のトピックへ進みます。

Adobe Reader により、マニュアルの使用および印刷のためのツールが提供されます。使い方については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

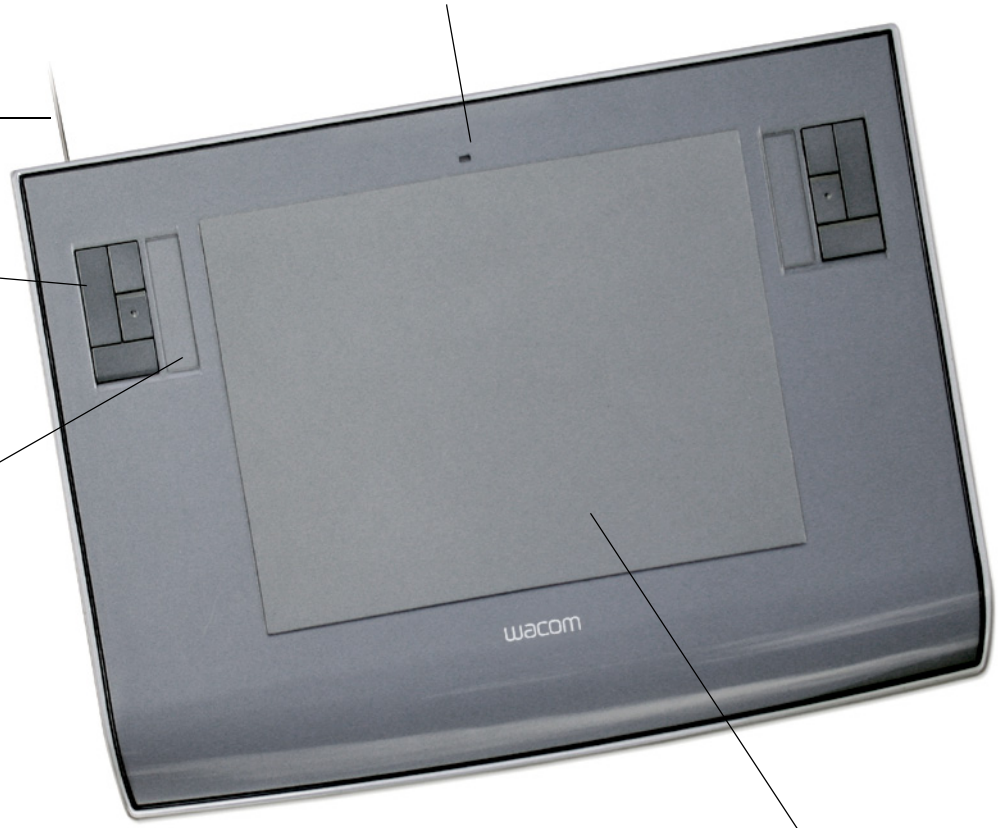
Intuos3 を使う

このセクションで、Intuos3 ペンタブレットを紹介します。Intuos3 は、作業エリアとして使用するタブレットとタブレット上で使用する Intuos3 入力デバイス で構成されています。次のセクションを読んで、Intuos3 入力デバイスおよびタブレットの使い方を習得してください。

補足 : Intuos3 入力デバイスは、Intuos3 タブレットでのみご利用いただけます。Intuos、あるいは Intuos2 シリーズのタブレットではご利用いただけません。同様に、Intuos、あるいは Intuos2 入力デバイスは、Intuos3 タブレットではご利用いただけません。

Intuos3 タブレットの機能
Intuos3 入力デバイス
姿勢と作業環境を整える
グリップペンを使う
マウスを使う
エアブラシとマーカーを使う
タブレットを使う

Intuos3 タブレットの機能



補足 : 上の図は Intuos3 タブレットです。タブレットについて習得するには、タブレットを使うをご覧ください。Intuos3 オプション品の一覧については部品と付属品の注文をご覧ください。

Intuos3 入力デバイス

さまざまな入力デバイスがタブレット上で利用できます。Intuos3 入力デバイスにはコードおよび電池がありません。人へのやさしさと使いやすさを考慮した人間工学に基づいて設計されています。各デバイスにはユニークなデバイス ID が書き込まれており、デバイス ID により複数のデバイスで作業したり、個別に各デバイスをカスタマイズすることが可能です。

Intuos3 グリップペンは筆圧を検出するコードレスデバイスで、画像を編集したり、自然で滑らかなペンとブラシのストロークを作成します。

通常操作、ポインタの移動、クリックにマウスを使用する場合、Intuos3 ペンを傍らに置き、タブレットの上に Intuos3 マウスを置きます。マウスにはコードが付いておりません。左手または右手で簡単に使えるように、左右対称に設計されています。

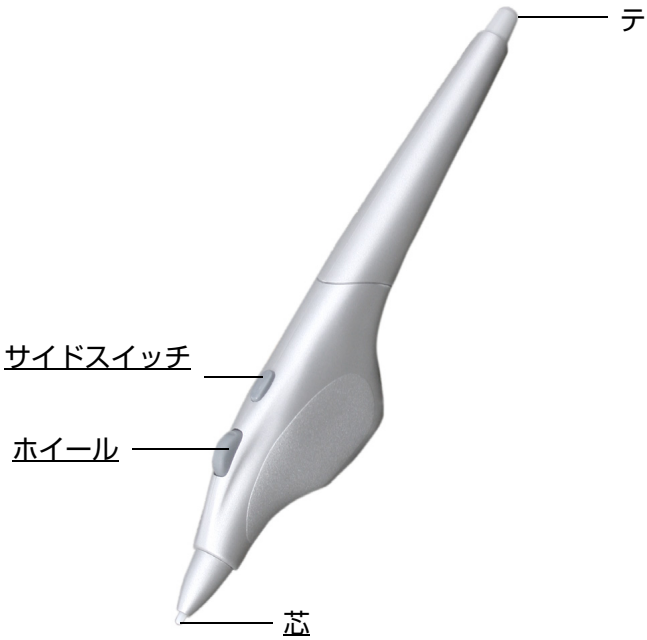
Intuos3 グリップペン

Intuos3 マウス

補足：製品構成によっては、Intuos3 マウスが含まれません。

Intuos3 オプションデバイス

オプション品のエアブラシは、Intuos3 グリップペンのように筆圧を検出するコードレスデバイスです。画像に、自然で滑らかなペンとブラシのストロークを作成したり、編集できます。



Intuos3 エアブラシ (オプション)

Intuos3 インクペン (オプション)

インクペンは筆圧を検出し、芯を交換することができます。インクペンでは、ボールペン芯を挿入することによりタブレットの上に紙を一枚置き、通常のペンのように文字を書いたり絵を描いたりすることができます。書かれたものはすべて、紙とコンピュータに保存されます。

Intuos3 マーカー（オプション）

マーカーもまた筆圧を検出し、傾きや回転に対応します。

ブラシの種類によって作成される効果やマーカーのストロークをほとんど作成することができます。さまざまなペンとブラシの感触をシミュレートするために、マーカーには硬質プラスチックとフェルト素材のヂゼル型の芯が付属します。

エアブラシやインクペン、その他の Intuos3 タブレット、入力デバイス、または部品や付属品については部品と付属品の注文をご覧ください。マーカーやエアブラシをサポートしているアプリケーションの一覧についてはワコムのホームページをご覧ください。製品情報もご覧ください。

姿勢と作業環境を整える

疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。タブレット、入力デバイス、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所へモニタを置いてください。画面のポインタがタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置いてください。

- 作業の合間に休憩をとり、筋肉を伸ばしたり、リラックスさせてください。
- 入力デバイスを持つときはなるべく力を抜いてください。
- １日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行ってください。
- 不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。

補足：Intuos3 が原因と思われる反復性ストレスの徴候、障害、あるいは症状についての治療や予防の説明、約束、保証はいたしかねます。必ず医師の診断を受け、適切な処置をとるようにしてください。

詳細についてはタブレットを使うもご覧ください。

グリップペンを使う

Intuos3 グリップペンはコードレスで、電池がなく、筆圧を検出します。ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの４つです。少し練習すれば、２つ目の道具として自然にペンを使えるようになります。ペンを使うことに慣れない場合は、次のページからの練習を行ってください。

ペンの持ち方
ポインタの移動
クリック
ドラッグ
サイドスイッチを使う
筆圧を使って描画する
傾きを使って描画する
消しゴム
画面を見ながらペンを使う

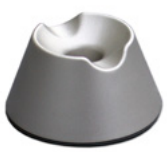
ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。サイドスイッチが、親指、または人差し指でスイッチを押せるような位置にあることを確認してください。誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。描きやすさを感じる方向にペンを傾けてください。

ペンの持ち方

消しゴムの使い方

タブレットにはペンスタンドが付属します。ペンを使用しない場合は、ここに置きます。タブレットからすぐ手の届くところへペンスタンドを置いてください。作業中に、ペンを縦か横にして置いておくことができます。



重要：Intuos3 ペンを使用しない場合、ペンスタンドに置くか、または机の上にペンを横にして置いてください。ペン先や消しゴムが押されてしまうような入れ物でペンを保管することはご遠慮ください。ペン先や消しゴムが押された状態でペンを収納すると、故障する場合があります。
Intuos3 入力デバイスをタブレット上に置いたままにすると、マウスなど他のデバイスを使用する際、画面のポインタの位置決めができなくなる場合があります。ペンを使わない場合、タブレットの上に置いたままにすると、コンピュータの節電モードの妨げにもなります。

ポインタの移動

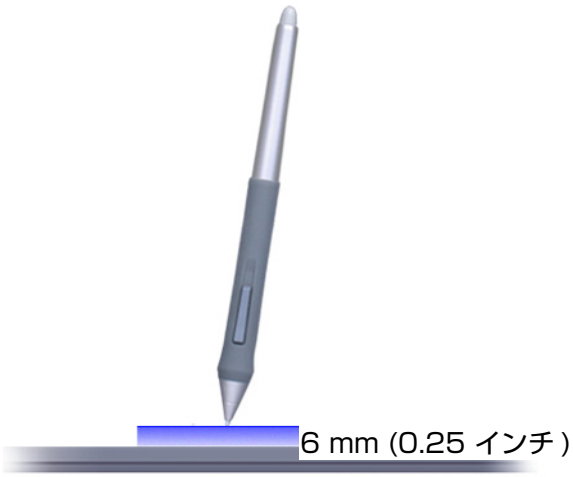
画面にポインタ（またはカーソル）を置きます。画面のポインタは、絶対位置 (ペンモード) または相対位置 (マウスモード) のどちらかで配置できます。

- ペンモードでは、タブレットの入力エリアは、コンピュータ画面に割り当てた表示部と一致します。タブレットの入力エリアで指定する点は、ディスプレイ画面上の 1 点に正確に対応します。タブレットにペンを置くと、画面のポインタは画面上の対応する点にジャンプします。これはペンの標準設定です。
- マウスモードでは、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。

ペンを少し持ち上げてポインタを移動させ、新しい場所へペン先を置きます。ポインタが新しい場所へジャンプします。

画面のポインタを置いて、サイドスイッチを操作する場合、ペン先をタブレット面から 6mm 以内の場所に近付けます。画面のポインタを移動させたり、サイドスイッチを使用するのにペン先でタブレットに触れる必要はありません。

マウスを含むすべての Intuos3 入力デバイスはタブレットの操作面でのみ動作します。



ヒント：

- マウスの操作に慣れていて、ペンによる操作に少し違和感を感じられる場合、画面を見ながらペンを使うを参照してください。
- 画面のポインタが、タブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置くと、ポインタを簡単に操作できるようになります。

クリック

通常、画面上にあるものをハイライトさせたり、または選択したりする場合、クリックします。開くにはダブルクリックします。

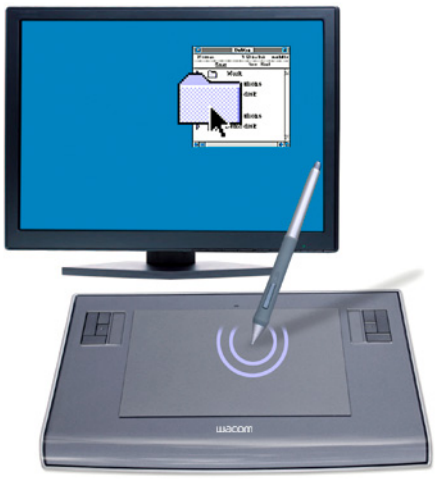
クリック：クリックするには、タブレットを１度ペン先で軽くたたきます。または、強めにタブレットにペン先を押し当てます（ペン先のクリック音は聞こえません）。フォルダアイコン上に画面のポインタを移動させ、ペン先を押してアイコンをクリックしてみてください。フォルダアイコンを押すと、ハイライトされます。

ダブルクリック：ダブルクリックするには、ペン先で同じ場所を短く２回たたきます。マウスボタンで２回クリックするのと同じです。フォルダアイコンを開くには、ダブルクリックしてみてください。

ヒント：

- Windows システムでダブルクリックする場合、上側のサイドスイッチを押します。Macintosh システムの場合は、下側のサイドスイッチを押します。ペン先で２回タブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。お買い上げ時の設定です。詳細はサイドスイッチを使うをご覧ください。
- **Windows**：Windows の設定で、ポインタをアイコンの上に置き、シングルクリックによるアイコンの起動を選択すると、ペンの操作が簡単になります。次の方法でこの操作に切り替えることができます。

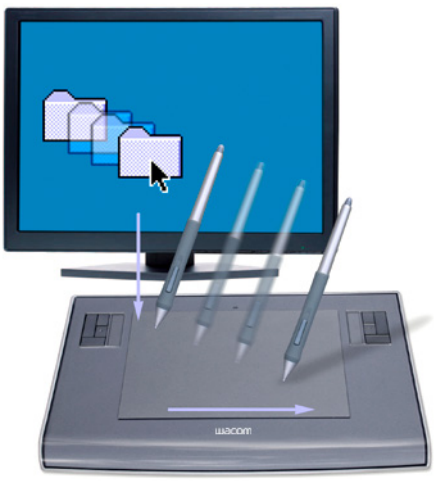
Windows 2000、XP の場合：任意のフォルダを開いて「ツール」メニューを選択し、プルダウンメニューから「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブの「クリック方法」からポイントして選択し、「シングルクリックで開く」を選択します。



ドラッグ

ペンで画面上のオブジェクトをドラッグするには、オブジェクトを指定してから、ペン先をタブレットに押し当てます、次に、タブレット面の上を滑るように移動させます。選択したオブジェクトは、画面上を移動します。テキストを選択するには、画面のポインタを行の開始位置に移動させます。次にタブレット上でペンをドラッグさせ、テキストをハイライトします。

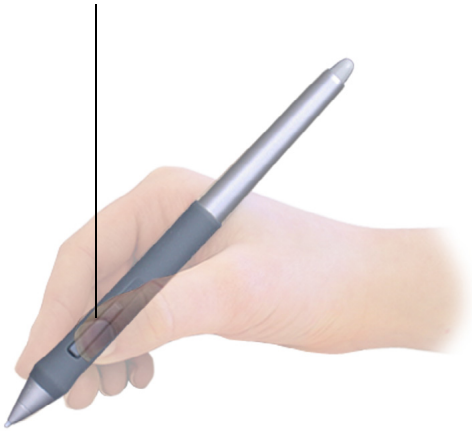
初めに、画面上のアイコンを移動させてみてください。
次に、ドキュメントのテキストをペン先を押したままドラッグして選択します。



サイドスイッチを使う

Intuos3 グリップペンにはサイドスイッチが装備されています。このスイッチには、２つのプログラム可能な機能があり、どちらのスイッチも押して操作します。ペン先がタブレットの操作面から高さ 6mm 以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がタブレットに触れていなくても、サイドスイッチは使用できます。

標準設定で、上側のスイッチは「ダブルクリック」に設定されています。下側のスイッチは右クリックに設定されています。



ヒント：

・ダブルクリックするには、上側のサイドスイッチを押します。ペン先で２度、タブレットの面をたたくよりも簡単にダブルクリック操作を行うことができます。

サイドスイッチのお買い上げ時の設定

	Windows	Macintosh
サイドスイッチ	右ボタンクリック	右クリック （control キー + クリック）
セカンドサイドスイッチ	左ダブルクリック	ダブルクリック

・特定のアプリケーション、または特定のアイコンのメニューを表示させるには、右クリックを使います。

補足：スイッチ機能が必要ない場合、サイドスイッチを取り外すことができます。サイドスイッチを取り外してペンを使用するには、穴のないラバーグリップをご購入ください。注文するには他の部品と付属品をご覧ください。

新しいスイッチ機能を割り当てるには、サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください。

筆圧を使って描画する

多くのグラフィックアプリケーションには描画ツールが備わっており、筆圧対応アプリケーションでは、描画ツールはペンに設定された筆圧に対応します。例えば、あるグラフィックアプリケーションでは、ブラシの特性（太さ、色、不透明度）を変更するのにスライダーを使用します。このようなブラシの特性は、ペンの筆圧によりさらにコントロールしやすくなります。例えば、ペンに加えられる筆圧に応じて、線の太さや色合いを変化させたり、不明度を変更することができます。

筆圧を利用して描画するには、初めにアプリケーションのツールパレットから筆圧ツールを選択します。次にペン先を下向きにして筆圧荷重をいろいろ変えながら、タブレット面に描画します。線を太くしたり、色を濃くするにはペンを強めに押します。線を細くしたり、色を薄くするにはペンを柔らかく押します。ペン先の感触を調整するには、ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。

Windows Vista と Office2007 のデジタルインク機能も筆圧に反応します。

筆圧をサポートするグラフィックアプリケーションについては、ワコムのホームページをご覧ください。本書の製品情報もご覧ください。

傾きを使って描画する

筆圧と同様に、タブレットは、垂直線を基準にペンの傾く角度を検出します。
グラフィックアプリケーションのなかには、線の形や太さのコントロールに傾きが使用できるものがあります。これはエアブラシと同様で、ペンを傾けた場合は線が太くなり、ペンが垂直な状態にある場合は線が細くなります。アプリケーションによっては、傾きを調整して、太さ、色、不透明度のようなブラシの特性を定義することができます。

傾きをテストするには、傾きをサポートする Painter などのようなグラフィックアプリケーションで曲線を描いてみてください。アプリケーションの傾き機能が有効であることを確認し、次にブラシで線を描きながらペンの傾きを変えて、線の形や太さが変わることを確認します。

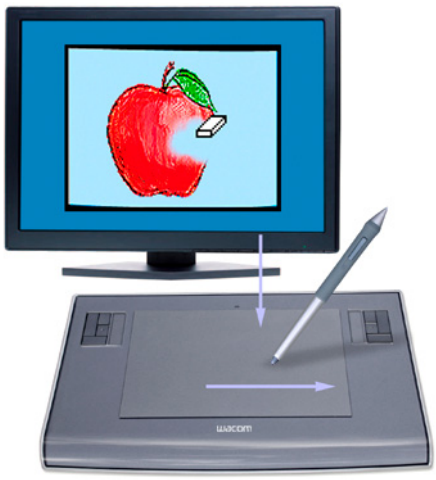
例として、Photoshop のブラシの形を傾きに対応するように構成した場合、ペンを傾けることにより長く引き伸ばされたパターンが作成されます。これにより、塗面から角度をつけるエアブラシのスプレー効果をシミュレートすることができます。

アプリケーションで、必要な傾き効果をあらわすのにペンの傾き加減を調整するには、傾きのカスタマイズをご覧ください。傾きをサポートするアプリケーションについては、ワコムのホームページをご覧ください。

消しゴム

Intuos3 ペンの消しゴムは、鉛筆の消しゴムのように働きます。消しゴムをサポートするグラフィックアプリケーションで、直感的に消すことができます。ペンの消しゴムを使うと、自動的に消しゴムツールに切り替わります。筆圧をサポートするアプリケーションで、ツールパレットから筆圧対応ツールを選択して、ペンで使用する筆圧の荷重を変えるように、消しゴムの縦と横の大きさを変化させることができます。

Windows Vista と Office 2007 で、デジタルインクによるメモやスケッチを削除する場合や、オフィスアプリケーションでのテキストや表計算セルを選択・削除する場合に、消しゴムが利用できます。



消しゴムの使用については、消しゴムの感触を調整するをご覧ください。

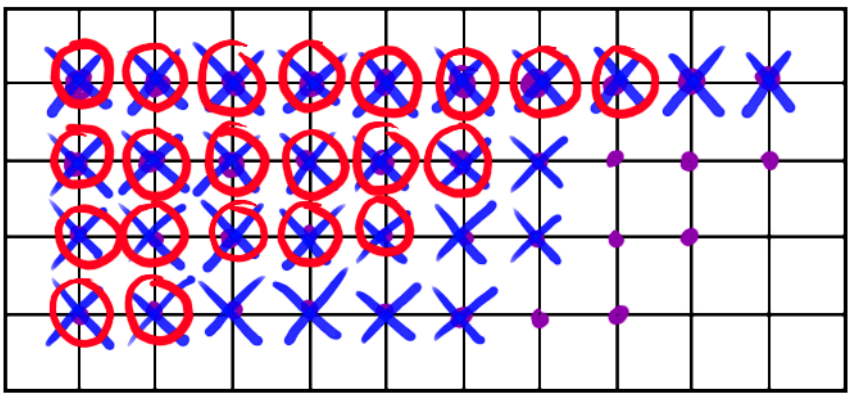
消しゴムをサポートするグラフィックアプリケーションのリストについては、ワコムのホームページをご覧ください。消しゴムがサポートされていないアプリケーションでも、ポインタを操作したり、絵を描いたりするのに消しゴムを使用することができます。

画面を見ながらペンを使う

マウスにおいても画面のポインタを適切な位置に置く操作に慣れるのに時間がかかったことでしょう。Intuos3 ペンも同様で、ペンモードで、画面のポインタを適切な位置に置く方法を習得するには、少し練習が必要です。初めは難しいように思われるかもしれませんが、マウスモードよりも自然で速くポインタを操作できるようになります。

この練習は、ペンを使用するために、目と手の連動に慣れるために作られています。

1. グラフィックアプリケーションを開きます。線ツールを使って 2 ～ 2.5cm の間隔で格子を描きます。マウスを使ってもよいでしょう。
2. フリーハンドツールを選択して、格子の交点にペンで点を打ちます。
3. 格子の交点にペンで X 印をつけます。
4. 最後に、格子の交点を○で囲んでください。下の図のようになります。



5. 今度は、画面をクリアして好きな絵を描いてみてください。ペンを使うほど、絵を描いたりポインタを操作することが楽になっていきます。

マウスを使う

Intuos3 マウスはコードレスで、電池がなく、メンテナンスが必要ないマウスです。Intuos3 タブレット上で動作します。

- **回転**：標準設定ではホイールを回転させると、ほとんどのウィンドウとアプリケーションでスクロール操作が設定されています。ホイールを奥へ回転させると、上方向にスクロールし、手前に引くと、下方向にスクロールします。ホイールの回転動作である各ノッチ（目盛り）に対してキーストロークが実行するように設定することもできます。これは、Photoshop でのズーム操作、またはインターネットブラウザでの上下スクロール操作など、繰り返しの多い操作に役立ちます。
- **ホイールボタン**：ホイールを押すと、ボタンクリックが実行されます。ホイールボタンは、標準設定では中ボタンクリックに設定されています。

ヒント：ホイールマウスをサポートする Office アプリケーションでは、[Ctrl] キーを押しながらホイールを回転させると、ズーム操作を実行することができます。

補足：製品構成によっては、Intuos3 マウスが含まれていない場合があります。

重要：Intuos3 マウスを使用しないときは、机の上に置いてください。Intuos3 デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、他のデバイスを使うとき、ポインタの位置決めができなくなる場合があります。また、コンピュータの節電モードの妨げにもなります。

マウス機能を調整する方法については、マウスのカスタマイズをご覧ください。

エアブラシとマーカーを使う

オプション品のエアブラシは、ペンのように使うことができます。エアブラシにはホイールが付属しており、ホイールを使って、エアブラシの太さなどに変化を与えることができます。ソフトウェアのサポートにより、エアブラシの写実的な描写がシミュレートできます。例えば、エアブラシを傾けると、スプレーパターンを長くしたりできます。ホイールを回転させると、スプレーの強さが調整でき、ペン先の筆圧によりブラシのサイズがコントロールできます。

他の機能はすべてペン同様に働きます。グリップペンを使うもご覧ください。

重要：エアブラシを使用しない場合、付属のペンスタンドに置くか、または机の上に横にして置きます。ペン先が押されるような入れ物でエアブラシを保管することはご遠慮ください。ペン先が押された状態でペンを収納すると、故障する場合があります。Intuos3 入力デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、他のデバイスを使用する際に、ポインタの位置決めができなくなる場合があります。

エアブラシを親指と中指で持ちます。人差し指で回転させやすい位置にホイールを配置します。筆圧を使用して、色を塗ったり、絵を描いたりしやすいような位置までエアブラシを傾けます。

Windows では、サイドスイッチの標準設定は「右クリック」です。Macintosh では、「ダブルクリック」に設定されています。

ホイールは手前に回転させると、インクの量またはブラシのサイズが大きくなり、奥へ回転させると少なくなります。

人さし指でホイールを操作します。ホイールはペン先に適用する筆圧とは無関係に操作できます。

オプション品の Intuos3 マーカーは、ペンに与える筆圧、傾き、回転に対応します。

マーカーは、ペン軸 360° の回転をサポートします。回転の検出をサポートするアプリケーションで使用すると、マーカーを少し回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。例えば、絵を描いているとき、非円形のブラシの回転をさまざまに変えることにより、ストロークの線幅を変化させることができます。

アプリケーションで選択したブラシの形の特徴に応じて、カリグラフィペン、幅広のフェルト芯マーカーやその他の非円形のブラシまたはツールをシミュレートすることができます。

ワコムのホームページで、Intuos3 エアブラシ、マーカーの購入先とエアブラシのホイール、マーカーの回転を現在サポートしているアプリケーションをご覧いただけます。

タブレットを使う

Intuos3 タブレットの中央部分が、ペンとマウスを使うことができる入力エリアです。紙の上でボールペンを使うように、タブレットに手を置き、タブレットの入力エリアでペンを使います。タブレットの入力エリアにペンを置くと、ポインタは、画面上の対応点にジャンプします。タブレットの入力デバイスの使い方に関する情報については、グリップペンを使うとマウスを使うを参照してください。

グラフィックおよびその他のアプリケーションでの作業効率を上げるために、Intuos3 タブレットにはすべて、ファンクションキーとトラックパッド機能が備わっており、タブレットの入力エリアのとなりに配置されています。片方の手を使ってペンで作業しながら、同時にもう一方の手を使って、ファンクションキーまたはトラックパッドを操作できます。例えば、Intuos3 タブレットから手を移動させなくても、入力デバイスのプロパティを変更することができます。(PTZ-431W タブレットにはファンクションキーとトラックパッドがひとつだけ付いていて、それは入力エリアの左側に配置されてます。)

ファンクションキーを使う

タブレット上をペンで作業しながら、もう片方の手でファンクションキーを押して、入力デバイスを切り替えるか、あるいはデバイスのプロパティを変更することができます。初期設定では、Photoshop およびその他のグラフィックアプリケーションで効率良く作業が進むように、次の修飾キーと機能が設定されています。

ボタン 1: Windows：[Ctrl] キー、 Macintosh：[command] キー (アップルキー)

ボタン 2: [Shift] キー

ボタン 3: Windows：[Alt] キー 、Macintosh：[option] キー

ボタン 4:「スクロール / 移動」機能（ペンのみ）

ファンクションキーは同時押しが可能です。例えば、キー３とキー１を同時に押すと、Windows システムでは [Alt] キー+ [Ctrl] キーをシミュレートし、また Macintosh システムでは [option] キー+ [command] キーをシミュレートします。

ヒント：

- Intuos3 タブレットのキー 4 を押すと、ペンを使って画像をアプリケーションウィンドウのなかで移動させることができます。
- Photoshop および他の多くのグラフィックアプリケーションでは、[Alt]、[Ctrl]、[Shift] キーはツールを変更するか、または修飾キーを押している間は補足ツールに切り替わります。

ファンクションキーはカスタマイズすることができます。ファンクションキーを使用するのに、次のような方法が考えられます。

- Photoshop でブラシの大きさを小さくしたり大きくしたりする「[」と「]」のように、通常使用するキーストロークに 1 組のキーを設定します。
- ファイルを開いたり、またはアプリケーションを起動するのに使用するキーボードショートカットに、キーを設定します。
- Intuos3 ペンのサイドスイッチを使用しない、または使用できない場合、ファンクションキーを右クリック、あるいはダブルクリックに設定します。
- マルチモニタシステムで使用する場合にのみ、ファンクションキーの 1 つを「マッピング画面切り替え」機能に設定してください。これによって、異なるモニタまたはディスプレイ間のタブレットのマッピングとポインタを切替えることができます。詳細についてはマッピング画面切り替え機能を使うをご覧ください。
- その他の利用可能な機能から選択します。

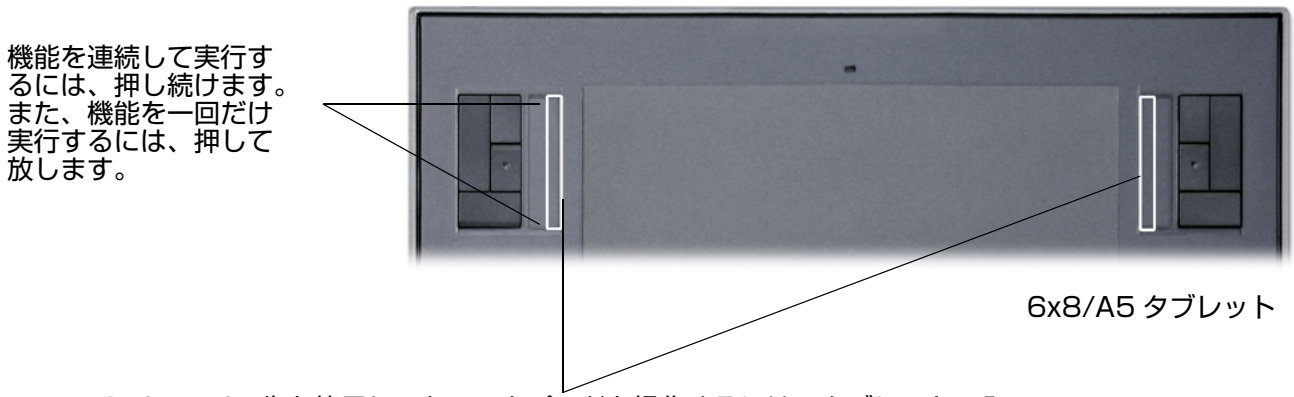
ファンクションキーの設定に関する詳細については ファンクションキーのカスタマイズ をご覧ください。

特定のアプリケーションで異なるキー機能が必要な場合、タブレットのコントロールに「特定のアプリケーションに対する設定」を簡単に設定することができます。詳細については、特定のアプリケーションに対する設定を作成するをご覧ください。

トラックパッドを使う

片方の手を使って、ペンあるいはマウスで作業しながら、もう片方の手の指をトラックパッドの上で滑らせます。簡単にズーム操作を実行したり、ウィンドウを上下にスクロールしたり、設定したキーストロークを実行することができます。例えば、Photoshop で作業する場合、レイヤを繰り返し使用するのにトラックパッドを設定することができます。次の３つの方法でトラックパッドを使用することができます。

- **通常操作**：ズーム操作、スクロール操作、あるいは割り当てられたキーストローク機能を実行するのに指を上下に滑らせます。
- **連続操作**：トラックパッドの端を指で押し続けると、スクロール操作が継続します。
- **１回のみの操作**：トラックパッドの端を指で押して放すと、一回の操作につき一度だけ、ズーム操作、スクロール操作、あるいは割り当てられたキーストローク機能が実行されます。



Intuos3 ペンのペン先を使用してトラックパッドを操作するには、タブレットの入力エリアのすぐとなりにあるトラックパッドの端にペンを置きます。次にクリックするぐらいの強さでペン先を押して、トラックパッドの端に沿ってペン先を上下に移動させます（トラックパッドの内側のみペン入力に対応しています）。

初期設定で、トラックパッドにより、ほとんどのグラフィックアプリケーションでズーム機能が働きます。他のアプリケーションではスクロール機能が働きます。

多くのアプリケーションでは、２つの方法によるズーム操作がサポートされています。Photoshop、Painter、他のアプリケーションでは、トラックパッドを操作しながら、Intuos3 の入力デバイスでズーム操作の中心点を指定することができます（Intuos3 入力デバイスでドキュメントウィンドウの内側を指定していることを確認してください）。他のアプリケーションでは、画像はドキュメントウィンドウの中心点を基点にズーム操作が実行されます。

ヒント：Photoshop を使用していて、よくブラシの大きさを変更する場合、「[」と「]」キーをトラックパッドに割り当てるとよいでしょう。指をトラックパッドの奥と手前に滑らせてブラシのサイズを変更することができます。キーボードや Photoshop のブラシパレットを使用する必要はありません。

トラックパッドの使い方をカスタマイズする場合、トラックパッドのカスタマイズとトラックパッドの詳細設定をご覧ください。

コントロールパネルの使い方

タブレットの基本的な使い方を習得したら、Intuos3 での作業方法をカスタマイズします。この章では、コントロールパネルの使い方を説明します。コントロールパネルから Intuos3 タブレットとデバイスの設定を目的や状況に合わせて変えることができます。

上級ユーザーは 特定のアプリケーションに対する設定を作成することにより、Intuos3 の最適な使い方を習得することができます。

コントロールパネルを開く
コントロールパネル概要
コントロールパネルの設定

コントロールパネルを開く

タブレットをカスタマイズする Intuos3 デバイスを使用して、コントロールパネルを開きます。

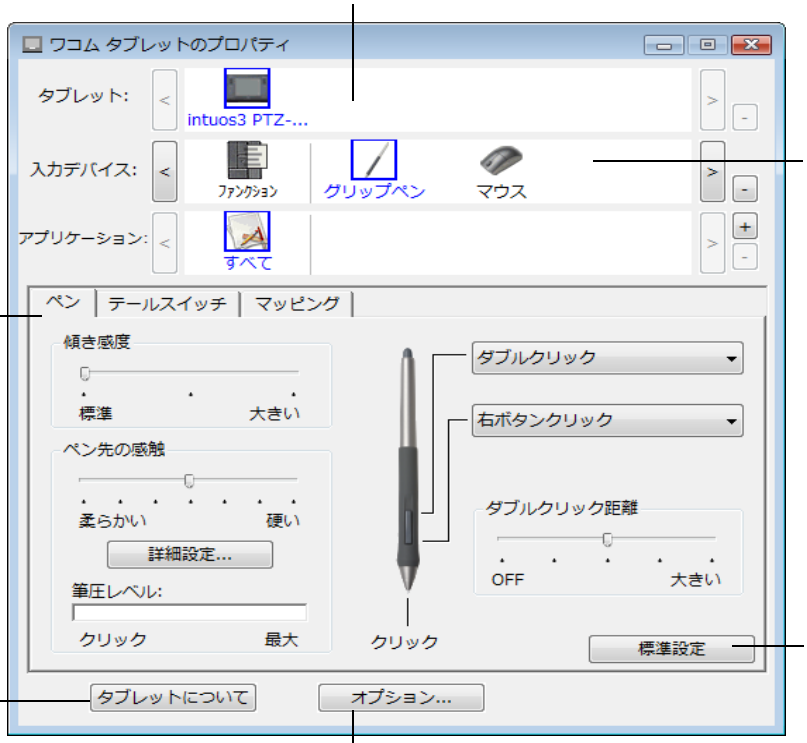
- Windows：Windows の「スタート」ボタンをクリックして、「すべてのプログラム」を選択します。（Windows 2000 では、「プログラム」を選択します。）
  次に「Wacom タブレット」→「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
- Macintosh：「Finder」の「アップル」メニューあるいは「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

コントロールパネルを開いて、Intuos3 のカスタマイズを始めます。

コントロールパネル概要

コントロールパネルを使用して、Intuos3 をカスタマイズすることができます。

コントロールパネルの上方には、タブレット、入力デバイス、アプリケーションを表すアイコンが表示されます。入力デバイスの設定をカスタマイズします。



タブにはカスタマイズ可能な設定が表示されます。

タブレットとタブレットドライバに関する情報が記載されたダイアログボックスが表示されます。「診断」ダイアログボックスにアクセスできるオプションがあります。

ファンクションキー、トラックパッド、ポップアップメニューの設定をカスタマイズするには「ファンクション」を選択します。

Intuos3 ペンの設定をカスタマイズするには「ペン」を選択します。

Intuos3 マウスの設定をカスタマイズするには「マウス」を選択します。

「標準設定」ボタンは選択したタブを標準設定にリセットします。

「オプション設定」ダイアログを表示します。

コントロールパネルから、ペンやマウスの設定をいろいろ試して、最適な設定を見つけてください。変更はすぐに反映されます。標準設定の状態にタブを戻すには「標準設定」をクリックします。各タブの特徴と機能については コントロールパネルの設定 をご覧ください。

ヒントはほとんどのコントロールパネルの項目の上に表示されます。項目の上に画面のポインタを置いて静止させておくだけで、ヒントがすぐにポップアップします。

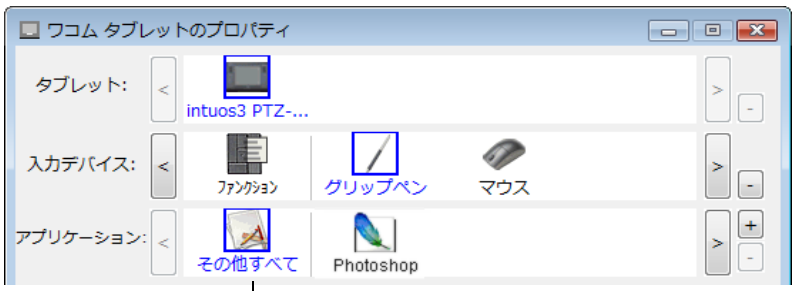
さらに、キーボードのタブと矢印キーをコントロールパネルを操作するのに使用することができます。

コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」リストから、目的のタブレット、デバイス、アプリケーションを選択して設定を変更します。デバイスの設定を変更するには、ペンやマウスを使ってコントロールパネルを開きます。デバイスが自動的に「入力デバイス」リストに選択され、適切なタブが表示されます。別のデバイスに対する設定をカスタマイズするには、「入力デバイス」リストからアイコンをクリックして選択します。（適切なタブが表示されます。）詳細についてはペンのカスタマイズ、マウスのカスタマイズ、ファンクションのカスタマイズをご覧ください。

「タブレット」リストには、システムにインストールされていて、サポートされたタブレットのアイコンが表示されます。このリストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」とタブレットに使用される各 Intuos3 デバイスのアイコンが表示されます。新しいデバイスが、初めてタブレットで使用されると、自動的に「入力デバイス」リストに追加され、標準設定の状態で動作します。複数デバイスでの作業もご覧ください。

「アプリケーション」リストで、特定のアプリケーションにのみ適用するデバイスの設定を定義することができます。特定のアプリケーションに対する設定をご覧ください。



現在、選択されているものがハイライトされます。

補足：コントロールパネルの「アプリケーション」リストは、上級ユーザ向けの機能です。

コントロールパネルの設定

コントロールパネルを使用する場合、このセクションを参考にしてください。タブと設定が複雑な項目について詳細な情報を提供します。セクションの多くには、カスタマイズに役立つヒントも含まれています。

ペンのカスタマイズ
マウスのカスタマイズ
タブレットを画面にマッピングする
ファンクションのカスタマイズ
ポップアップメニューのカスタマイズ
マッピング画面切り替え機能を使う
複数デバイスでの作業
特定のアプリケーションに対する設定

ペンのカスタマイズ

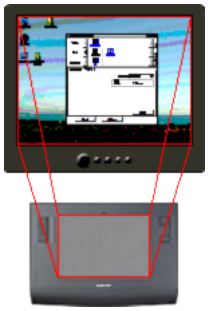
Intuos3 ペンは、簡単にカスタマイズすることができます。初めに、ペンを使用してコントロールパネルを開きます。グリップペンが「入力デバイス」リストで選択され、「ペン」タブが表示されます。タブに表示される項目を用途に合わせて設定します。

消しゴムの感触を調整する

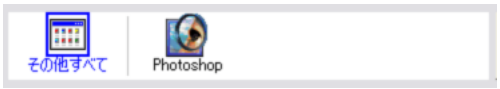
傾きのカスタマイズ

サイドスイッチのカスタマイズ

ペン先の感触とダブルクリックの調整



タブレットを画面にマッピングする



特定のアプリケーションに対する設定

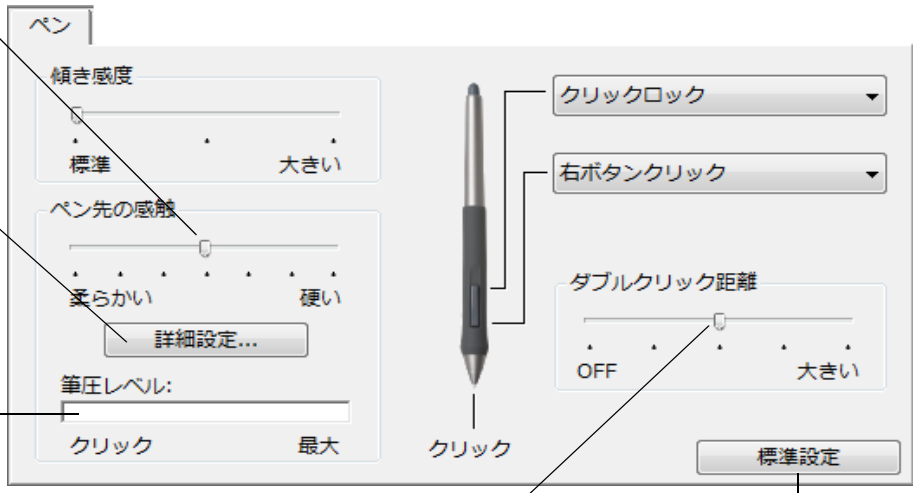
ペン先の感触とダブルクリックの調整

Intuos3 ペンの「ペン先の感触」を調整するには、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」で「柔らかい」ほうへスライダーを移動させると、幅広いブラシのストロークが作成できたり、軽いタッチでクリックできます。細い線を描く場合、スライダーを「硬い」ほうへ移動させます。

クリックしたり、または線を描くのに必要な筆圧の量をカスタマイズします。スライダーをドラッグして、柔らかく設定するか、または硬く設定します。

ペン先と消しゴムの詳細な設定 ダイアログボックスが表示され、ペン先の感触をさらにカスタマイズすることができます。

ペン先でタブレットの操作面を押して、現在のペン先の感触の設定をテストします。「ペン先の感触」スライダーを調整して、筆圧の最大値を得るのに必要な力がどのくらいかを確認することができます。



ダブルクリックする領域の大きさを調整します。大きく設定すると、ダブルクリックが簡単になります。

ダブルクリックアシストが必要ない場合は、スライダーを OFF 位置へドラッグします。

タブの設定を標準設定の状態へ戻します。

ヒント：

- 「ペン先の感触」を柔らかいほうへ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックアプリケーションでは、この設定をお勧めします。
- アプリケーションによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけで画面に大きく広がったりします。このような場合は、ペン先の感触の設定を硬くしてみてください。
- **ダブルクリック**：ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

補足：グラフィックアプリケーションによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ブラシストロークの開始が遅れる場合があります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。（サイドスイッチを使うをご覧ください。）ファンクションキーにダブルクリックを設定することもできます。

消しゴムの感触を調整する

Intuos3 ペンの消しゴムの感触を調整するには、「テールスイッチ」タブを選択します。消す幅を広くしたり、または軽いタッチで消す場合、消しゴムの設定を「柔らかい」にします。力を入れて消したい場合は、消しゴムの設定を「硬い」にします。

消しゴムを使用する場合に実行するボタン機能を選択します。

消すのに必要な消しゴムの荷重をカスタマイズします。スライダーをドラッグして柔らかい、または硬いに設定します。

感触の詳細設定ダイアログボックスが表示されます。消しゴムの感触をさらにカスタマイズすることができます。

消しゴムでタブレットの操作面を押して、現在の消しゴムの感触をテストします。「ペン先の感触」スライダーを調整して、筆圧の最大値を得るのに必要な力がどのくらいかを確認することができます。

タブの設定を標準設定の状態に戻します。

ペン先と消しゴムの詳細な設定

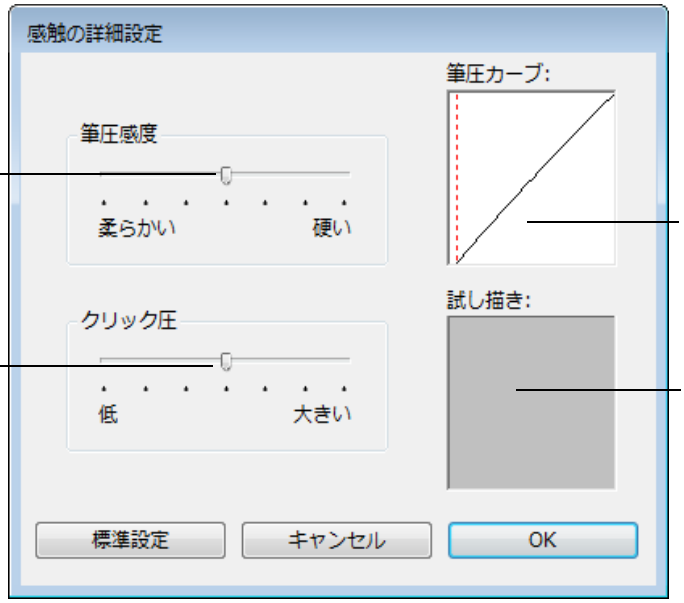
ペン先、あるいは消しゴムの筆圧を設定する場合、「ペン」、または「テールスイッチ」タブから「詳細設定」ボタンをクリックして、「感触の詳細設定」ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスのオプションにより、ペン先または消しゴムの筆圧の感触とクリックのしきい値の設定を変更することができます。(ペンと「テールスイッチ」タブで、この設定はペン先の感触、または消しゴムの感触のスライダーで同時に調整されます。)

重要：ペン先の感触、または消しゴムの感触のスライダーは、詳細な筆圧の設定より優先されます。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダーをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

スライダーをドラッグして、筆圧感度の設定を選択します。柔らかいタッチで、ペンに力をそれほど加えなくても十分な筆圧を取得したい場合、柔らかい設定を選択します。

スライダーをドラッグして、クリックのしきい値を調整します。

この設定により、ペン先でのクリックに必要な力の量が設定されます。



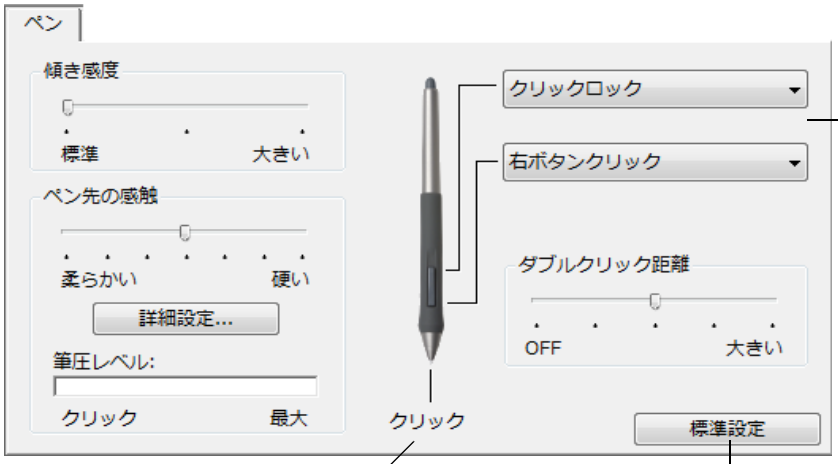
筆圧カーブは、選択した筆圧感度の曲線とクリック荷重の設定が図で示されます。

急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。

ペン先、または消しゴムを使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

サイドスイッチのカスタマイズ

「ペン」タブを選択して、Intuos3 ペンのサイドスイッチとペン先に設定された機能を変更します。各サイドスイッチには、マウスと同じように機能が設定されています。プルダウンメニューから、設定する機能を選択します。



上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働くボタン機能を選択します。

タブレットに接触させずに、タブレット面から 6mm 以内にペン先を入れて、上部、または下部のサイドスイッチを押した場合、設定した機能が働きます。

ヒント：簡単にダブルクリックをおこなうには、「ダブルクリック」を選択すると、自動的にサイドスイッチがダブルクリックに設定されます。

ペン先に割り当てられた機能を変更するには、現在「クリック」が設定されている箇所をクリックします。

タブの設定を標準設定に戻します。

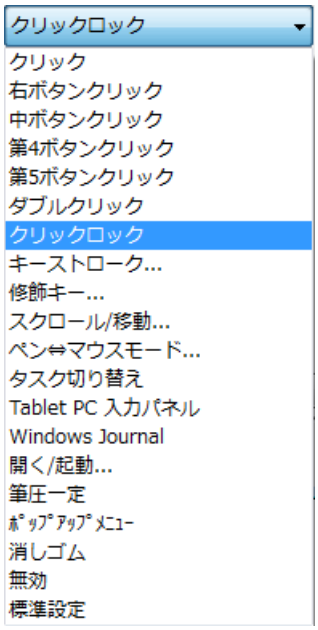
注意：

- クリックが設定されていないと、ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。サイドスイッチの 1 つに、必ずクリック機能を設定してください。
- グラフィックアプリケーションで線を描くのに、ペン先は「クリック」に設定されている必要があります。

補足：標準設定では、ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチをクリックすると、設定された機能が働きます。「サイドスイッチエキスパートモード」は、サイドスイッチを押しながら、ペン先でクリックしたときにサイドスイッチに設定された機能（例えば右ボタンクリックや中ボタンクリック）が働きます。右ボタンや中ボタン操作での細かい位置決めが必要なときに、「サイドスイッチエキスパートモード」を有効にします。コントロールパネルの下の「オプション」ボタンを選択して、「オプション」ダイアログボックスを表示します。

ボタン機能

サイドスイッチ、トラックパッド、ファンクションキー、ポップアップメニューの設定に利用可能なオプションを説明します。必ずしもすべてのオプションが利用できるわけではありません。



クリック：クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの１つに設定してください。

ダブルクリック：ダブルクリックを行います。ペン先で２度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。

中ボタンクリック：中ボタンクリックを行います。

右ボタンクリック：右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

クリックロック： スイッチを１回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放すことに相当します。クリックロックは、オブジェクトをドラッグするか、またはテキストブロックを選択するのに利用可能です。

第４ボタンクリック：マウスの第４ボタンを押すことに相当します。

戻る：ブラウザアプリケーションで「戻る」機能を実行します。

第５ボタンクリック： マウスの第５ボタンを押すことに相当します。

進む：ブラウザアプリケーションで「進む」機能を実行します。

「スクロール / 移動」**（ペンのみ）**： Intuos3 ペンを使って、文書または画像を入力ウィンドウのなかで、自由に移動させることができます。

アプリケーションの設定に従う： （Windows システムと Intuos3 マウスのみ）アプリケーションにボタンの数のみ知らせます。
この機能は、CAD プログラムのように、Intuos3 マウスまたはオプションのレンズカーソルに対するサポートが組み込まれたアプリケーションに有効です。

標準設定：標準設定にボタンを戻します。

無効：ボタン機能を無効にします。

消しゴム：消しゴムとして働きます。
消しゴムの使用については消しゴム をご覧ください。

Inkwell(Macintosh)：
Inkwell の Inkanywhere の機能をオンとオフに切り換えます。Inkwell は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、インクをオンにする必要があります。Inkwell の使い方については、Macintosh のヘルプをご覧ください。

マッピング画面切り替え：マルチモニタ環境で使用します。この機能が割り当てられたファンクションキーを押すと、ディスプレイ間でタブレットのマッピングやポインタの位置を切替えることができます。

「Tablet PC 入力パネル」：(Tablet PC 入力パネルをサポートする Tablet PC および Windows Vista システム)Tablet PC 入力パネルが開きます。

「Windows Journal」（Windows Journal を含んだ Windows Vista および Tablet PC システム）Windows Journal を開きます。

キーストローク ：設定済みのキーストロークを実行します。

ペン⇔マウスモード：「ペン」モードと「マウス」モードを切り替えます。

修飾キー ：選択された修飾キーを押すことに相当します。

開く / 起動 ...：アプリケーションやファイルを開いたり、スクリプトを実行します。

ポップアップメニュー：画面にポップアップメニューを表示します。詳細についてはポップアップメニューのカスタマイズをご覧ください。

筆圧一定： ボタンを放すまで、筆圧レベルをロックして現在の筆圧を維持します。例えば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧感触を使いながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。

「デスクトップを表示」：開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。

「タスク切り替え」：起動中のアプリケーションで、前面に表示させたいアプリケーションがタスク切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows Vista システムでは、3D フリップが起動して、前面に表示させたいアプリケーションを選択できます。

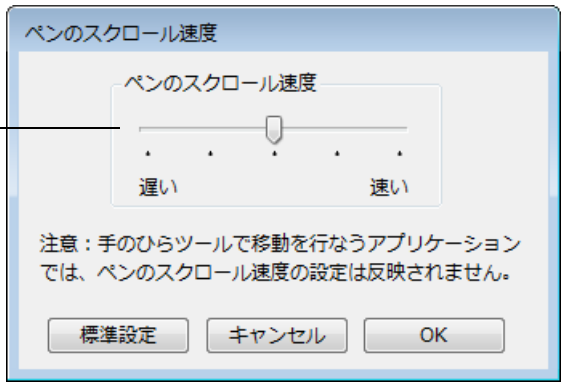
「Exposé」(Macintosh)：画面に開いているウィンドウをタイル表示します。

- **「スクロール / 移動」**（ペンのみ）「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、タブレットの操作エリアでペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。

「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。

書類または画像内での手のひらツールの移動機能をサポートしていないアプリケーションでのスクロール速度が設定できます。

設定値を小さくすると、スクロール速度が下がることから、画像の正確な制御を必要とする細かい作業に有効です。設定値を小さくすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。



- **キーストローク** .... キーストロークをシミュレートすることができます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。1 つのキーストローク、または連続して再生されるようにキーストロークを入力することができます。

手動で、1 つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力することができます。キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）を組み合わせることができます。

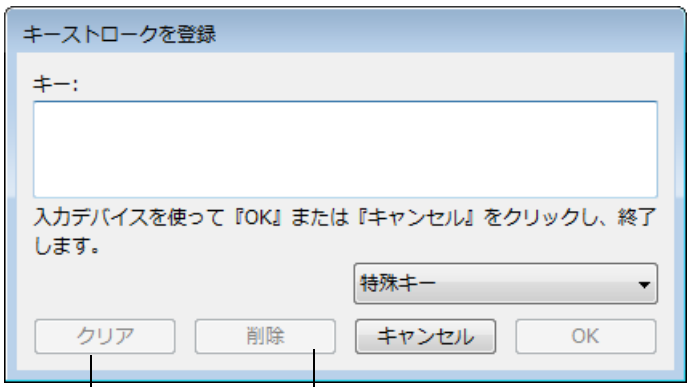
「Add Special」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。選択すると、「キー」ボックスに追加されます。

キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

重要：[Enter] キー (Windows) と [return] キー (Macintosh) は、定義するキーストロークとして入力することができます。「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択するのに、使用しないでください。必ず Intuos3 入力デバイスを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。

ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはポップアップメニューに表示されます。

アプリケーションごとにキーストローク機能を設定することができます。詳細については 特定のアプリケーションに対する設定をご覧ください。

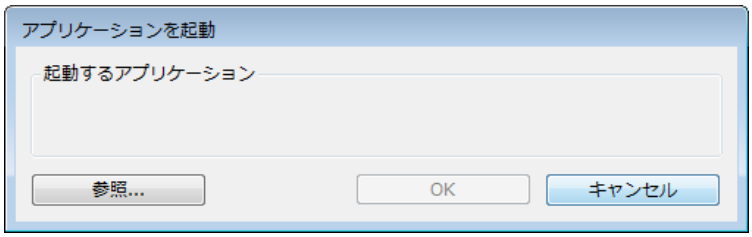


- **開く／起動 ....** ダイアログボックスを開いて、起動する特定のアプリケーション、ファイル、またはスクリプトを選択することができます。

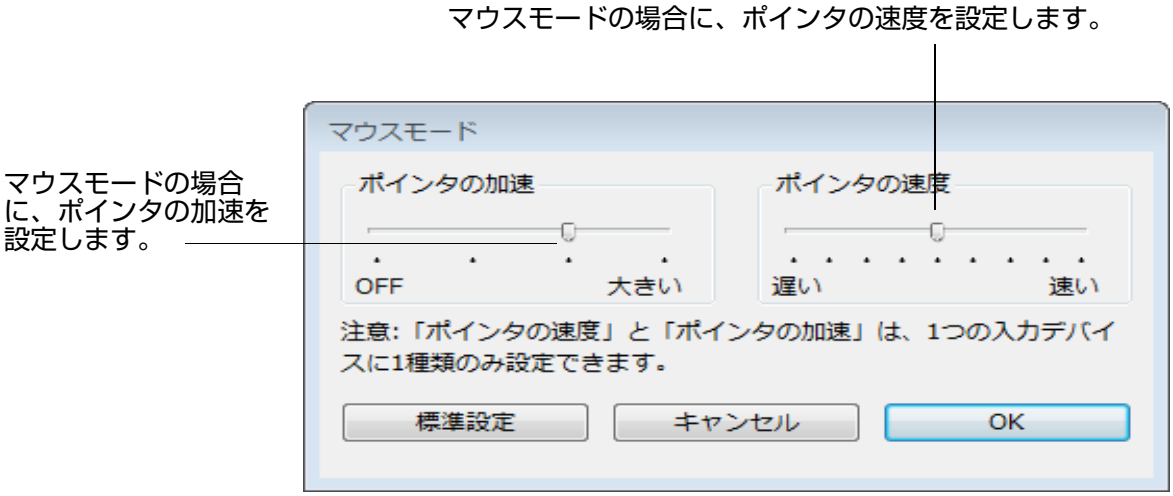
  「参照」ボタンをクリックして、起動するアプリケーションを選択します。選択したアプリケーションが、「起動するアプリケーション」ボックスに表示されます。

  「OK」をクリックします。ダイアログボックスが閉じます。選択した「アプリケーションを起動」オプションをデバイスボタンオプションとして割り当てます。ポップアップメニューに選択した場合、ポップアップメニューリストに表示されるようになります。

  サイドスイッチを押すか、またはポップアップメニューから選択すると、定義したアプリケーション、ファイル、またはスクリプトが起動します。

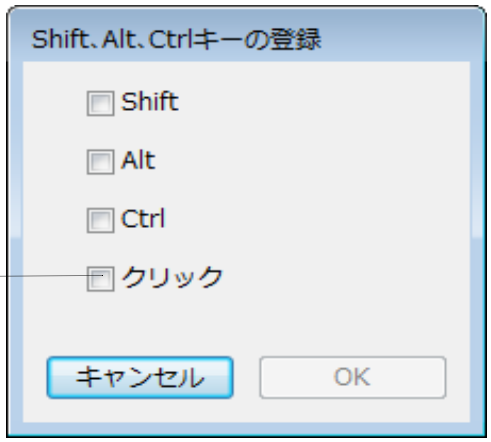


- **ペン⇔マウスモード ....** ペンモード と マウスモード を切り替えます。 初めてこの機能をデバイスボタンに設定した場合、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速とスピードを調節することができます。



補足：「マウスモード」は、コントロールパネルの多くのダイアログからアクセスして設定することができます。マウスの加速とスピードの設定は、入力デバイスとアプリケーションをカスタマイズしている場合１つしか設定できません。

- **修飾キー ....** 修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）をシミュレートすることができます。多くのアプリケーションでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。このオプションを選択すると「Shift、Alt、Ctrl キーの登録」ダイアログボックスが表示され、１つあるいは複数の修飾キー機能を割り当てることができます。機能を設定した後、「OK」をクリックします。

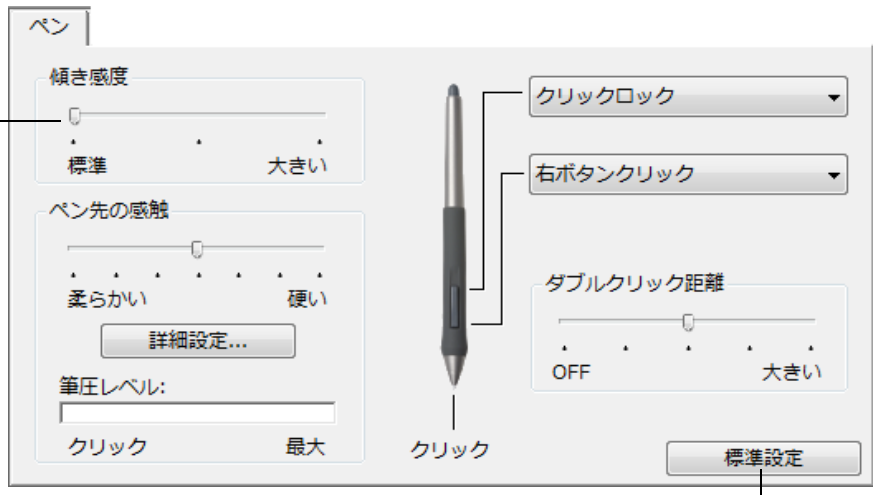


傾きのカスタマイズ

Intuos3 ペンの傾きを調整するには、「ペン」タブを選択します。傾きに対応するアプリケーションで、ペンをどれくらい傾けるかを決めて、ペンの傾き効果が最大限に発揮できるようにします。高い感度では、低い感度ほどペンを傾ける必要はありません。筆圧のように、ブラシの特性がコントロールできるように傾きを割り当てられます。傾きの設定は、デバイスのペン先と消しゴムの両方に適用します。

スライダーをドラッグして、傾き感度を高くしたり、低くしてください。次に、傾きをサポートするアプリケーションで新しい設定をテストして、適切な効果が得られたか確認してください。

補足：傾きは方向に反応します。アプリケーションによっては、ブラシの方向をコントロールするのに使用することができます。



タブの設定を標準設定に戻します。

現在、傾きをサポートするアプリケーションについてはワコムのホームページをご覧ください。

マウスのカスタマイズ

Intuos3 マウスは簡単にカスタマイズすることができます。初めに、マウスでコントロールパネルを開いてください。「マウス」が「入力デバイス」リストで選択され、「マウス」タブが表示されます。タブに表示される項目を用途に合わせて設定します。

マウスボタンのカスタマイズ
マウスホイールのカスタマイズ

マウスモード

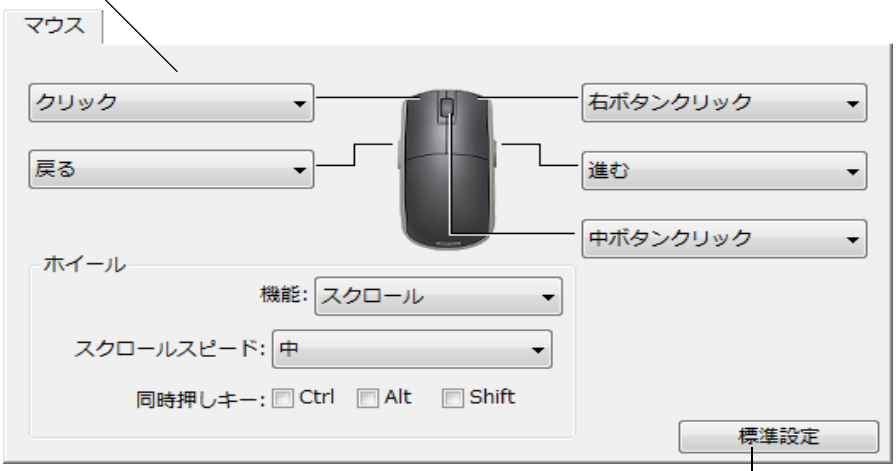
特定のアプリケーションに対する設定

マウスボタンのカスタマイズ

Intuos3 マウスボタンの設定を変更するには、マウスでコントロールパネルを開き、「マウス」タブを選択します。Intuos3 ペンと同じように、プルダウンメニューからボタンに働く機能を選択します。利用可能なオプションの詳細については、 ボタン機能 をご覧ください。

ボタンを押した時に、働く機能を選択します。

マウスは複数ボタンの同時押しが可能です。例えば、１つのボタンに [Ctrl] キーを、別のボタンに [Alt] キーストロークをシミュレートするようにプログラムした場合、両方のボタンを押すと、[Ctrl]+[Alt] がシミュレートされます。



補足：Intuos3 マウスを左手で使えるように設定するには、ボタン機能を再度割り当てます。

タブの設定を標準設定に戻します。

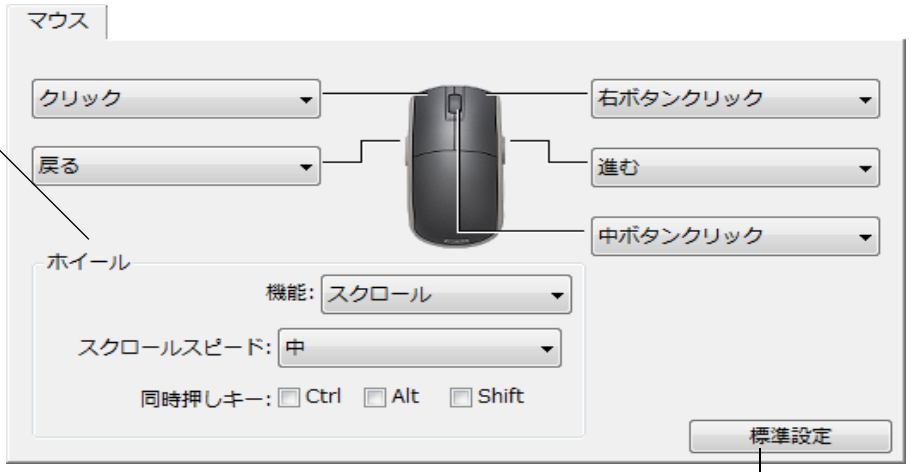
マウスホイールのカスタマイズ

標準設定により、ホイールは、ほとんどのウィンドウとアプリケーションでスクロール操作をコントロールします。ホイールをカスタマイズするには、Intuos3 マウスでコントロールパネルを開き、「マウス」タブを選択します。

「機能」に「スクロール」、「キーストローク」、「無効」を設定することができます。標準設定は「スクロール」です。

「機能」メニューから「スクロール」を選択すると、タブにカスタムスクロールオプションが表示されます。

ホイールを 1 ノッチ（目盛り）回転させたときのスクロールの速度を選択します。上にスクロールするには、ホイールを奥へ回転させ、下にスクロールするには、手前に回転させます。



タブの設定を標準設定値に戻します。

「同時押しキー」すなわち修飾キーオプションを選択すると、選択した修飾キーオプションが、各スクロールイベントとともにアプリケーションに送られます。これはズーム操作、または他の操作をアプリケーション内で作成するのに使用することができます。

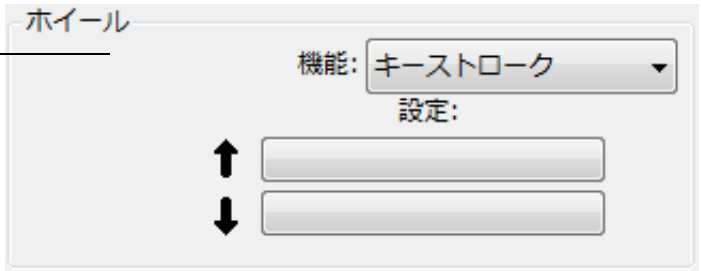
Macintosh：[option]、[command（アップルキー）]、[control]、[shift] キーを利用することができます。

「キーストローク」オプションを選択すると、設定したキーストロークはホイール動作の 1 ノッチに対して一度だけ送られます。特定のアプリケーションでサポートされるキーストロークのショートカットについては、アプリケーションに付属するマニュアル等のドキュメントをご覧ください。

「キーストローク」を選択すると、タブにはキーストロークオプションが表示されます。

特定の方向にホイールを回転させる場合の各ノッチに送られるキーストロークをカスタマイズするには、矢印に対応したボタンをクリックして、キーストローク機能を入力します。新しいキーストロークの設定が「設定」ボタンに表示されます。

「キーストローク」オプションは、Photoshop でのズーム操作、またはインターネットブラウザでのスクロール操作などのように繰り返しの多い機能を使用する場合に役立ちます。



ヒント：キーストロークを実行するスピードを２倍にするには、「キーストロークを登録」ダイアログボックスでキーストロークを連続して２回入力します。

タブレットを画面にマッピングする

「マッピング」タブを選択して、タブレット面でのデバイスの動作とモニタ画面でのポインタの動作の関係を設定します。「座標検出モード」オプションで、画面のポインタの動き方をコントロールします。

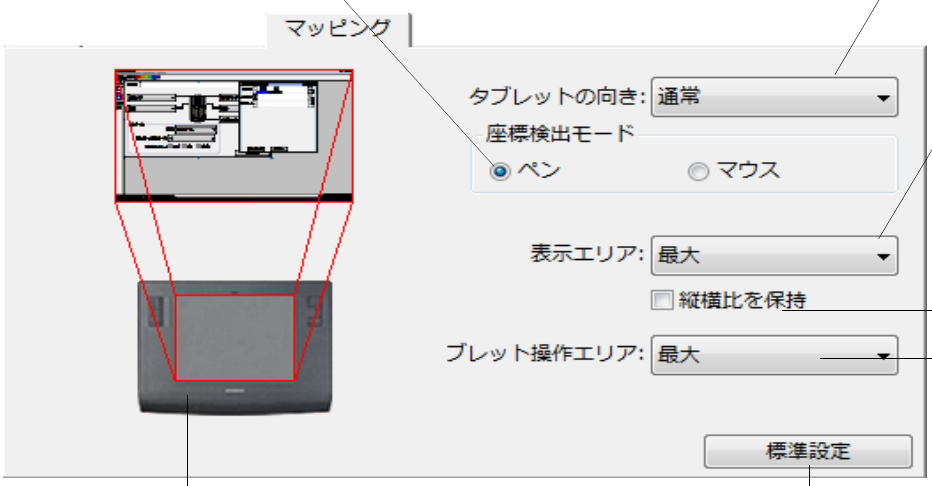
- 「ペン」モードを選択すると、画面のポインタの動作は、タブレット上の Intuos3 入力デバイスの位置と 1 : 1 で対応するように設定されます。タブレットにデバイスを置くと、モニタ画面上のポインタは対応する位置へ移動します。これは絶対位置として知られ、ペンに対する標準設定です。
- 「マウス」モードを選択すると、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。これはマウスに対する標準設定です。

ペンモード

Intuos3 ペンに対する標準設定の「座標検出モード」は、「ペン」モードです。

「ペン」モードでは、「マッピング」タブが次のように表示されます。

選択する「モード」により、画面のポインタの動き方が異なります。
ペンモードによる 画面のポインタは絶対位置で移動します。



タブレットの向きを選択します。

補足：「タブレットの向き」は各タブレットに設定することができます。設定は、すべてのデバイスとアプリケーションに適用されます。他の「マッピング」は特定のデバイスとアプリケーションに対して設定することができます。

表示エリア：タブレットに割り当てるモニタ画面の領域を選択します。

縦横比を保持 ：
チェックすると、タブレットと画面は比例する関係で割り当てられます。

モニタ画面に割り当てるタブレット入力エリアを選択します。

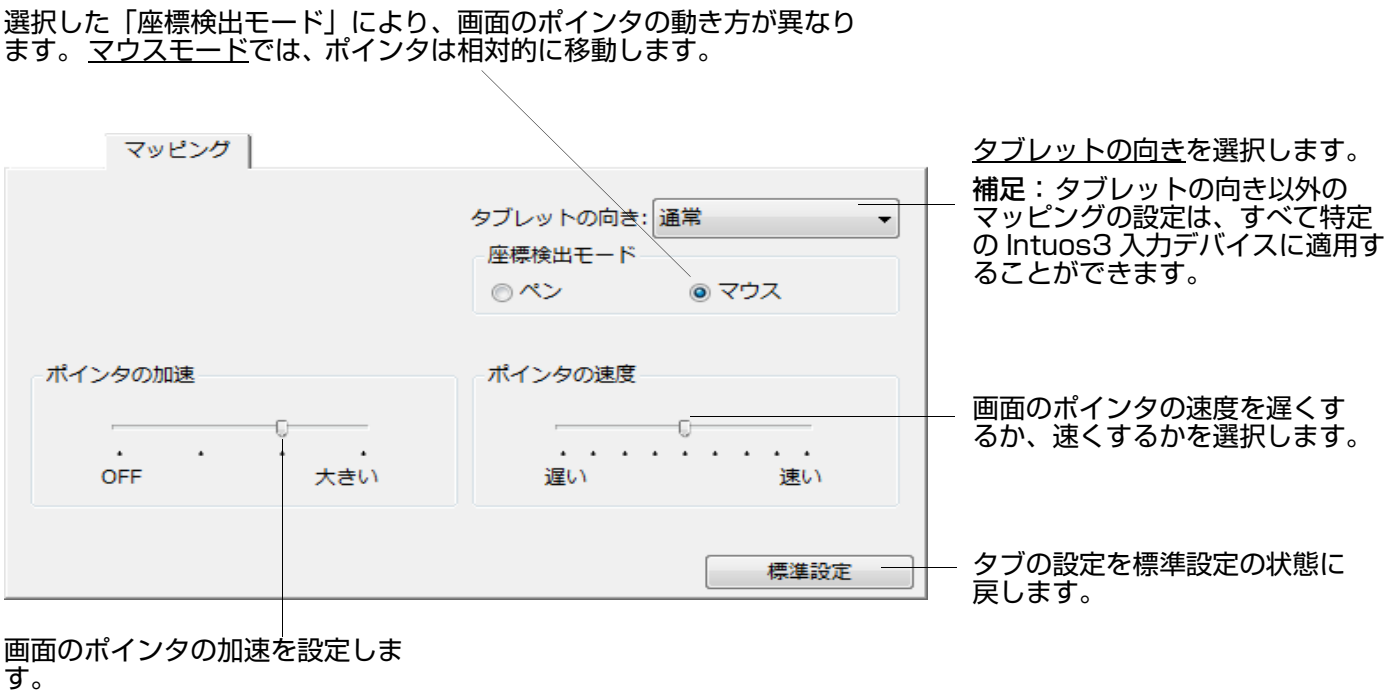
タブレットとモニタ画面の画像は直ぐに更新され、選択したマッピングの関係が表示されます。

タブの設定を標準設定値に戻します。

マウスモード

Intuos3 マウスに対する標準設定の「座標検出」モードは「マウス」モードです。

「マウス」モードを選択すると、「マッピング」タブは次のように表示されます。



補足：画面の「ポップアップ」メニューを使用して、「ペン」モードと「マウス」モードを切り替えることもできます。詳細については、ポップアップメニューのカスタマイズ をご覧ください。「ペン」モードと「マウス」モードをよく切り替える場合は、デバイスボタンに「ペン⇔マウスモード」機能を割り当てることもできます。

タブレットの向き

「タブレットの向き」を選択して、選択したタブレットの向きに合うようにタブレットを回転させます。この機能は、トラックパッド、ファンクションキーを下側に置いたり、あるいはタブレットの片側に置いて作業する場合に便利です。また縦長のモニタで作業する場合に便利です。

- **通常**：タブレットの向きは横向きで、ステータスランプの位置は上側になります。これは標準設定です。
- **時計回り 90°** ： タブレットを時計回りに９０° 回転させます。ステータスランプの位置は右側になります。
- **逆さ**： タブレットを１８０° 回転させます。ステータスランプの位置は下側になります。
- **反時計回り 90°** ： タブレットを反時計回りに９０° 回転させます。ステータスランプの位置は左側になります。

変更を行った後、タブレットが正しい向きに置かれていることを確認してください。デバイスをタブレットの上で上方向に移動させて、画面のポインタが同じように上方向に移動することを確認します。

補足：選択したタブレットの向きは、すべてのデバイスとアプリケーションに適用されます。

表示エリア

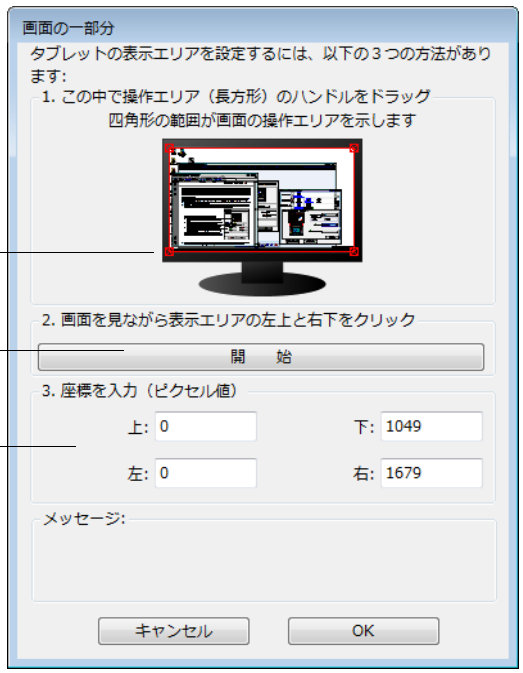
「マッピング」タブの「表示エリア」オプションで、タブレットをモニタ画面のどの部分に割り当てるかを定義することができます。

- **全画面**： 画面全体が割り当てられます。標準設定です。詳細については 複数モニタへのマッピング をご覧ください。
- **一部分**： タブレットに対してモニタ画面の一部分を割り当てることができます。「一部分」を選択すると、「画面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

画面の一部分を定義する方法を選択します。

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択します。背景の図は、画面全体を表します。
- 表示エリアを指定するのに画面のポインタを移動させます。「開始」ボタンを選択します。画面の一部分を定義しながら、メッセージに従って、マッピングに使用する表示画面の領域を設定します。
- 画面表示エリアの上、下、左、右の境界に対してピクセルの値を入力します。値は、画面の上の左隅から測定されます。メッセージに従って確認してください。

画面の一部領域を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、別の入力デバイスを使用してください。

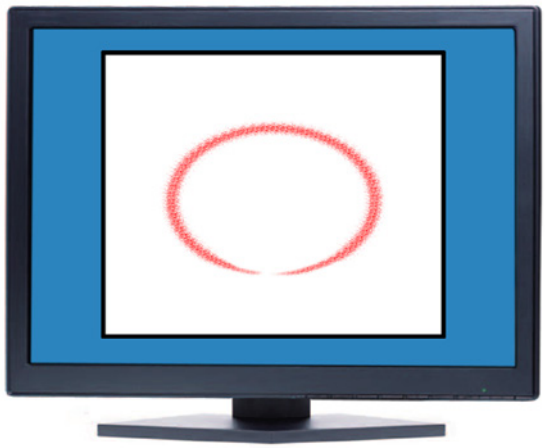


- **モニタ**： 選んだシングルモニタの領域全体に割り当てます。複数のモニタがシステムに接続されている場合、検出されるそれぞれのモニタにオプションを適用することができます。

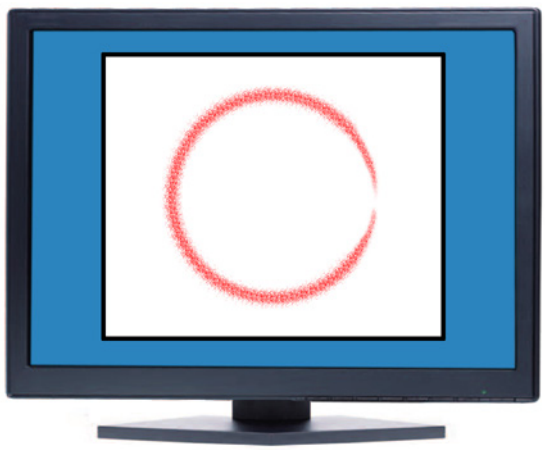
縦横比を保持

マッピングタブの「縦横比を保持」ボックスをチェックするか、またはチェックをはずして、タブレットと画面との関係を設定します。

「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したタブレットの入力エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。タブレットに円を描くと、画面に楕円が描かれます。標準設定です。



「縦横比を保持」をチェックすると、タブレットと画面との間で、正確な垂直比率と水平比率が保持されます。タブレットに描かれた円は、表示画面の円と一致します。設定によりますが、このオプションが選択されている場合、タブレットの入力エリアで利用できない領域があります。



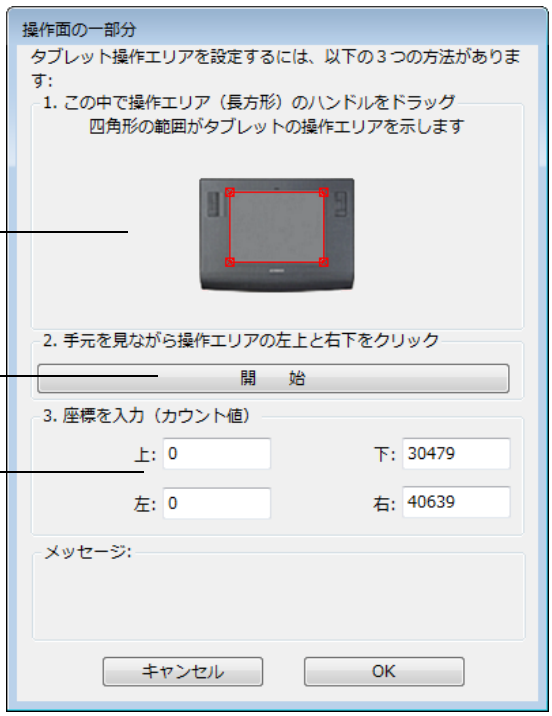
タブレット入力エリア

「マッピング」タブの「タブレット入力エリア」で、画面に割り当てるタブレットの操作領域を定義することができます。

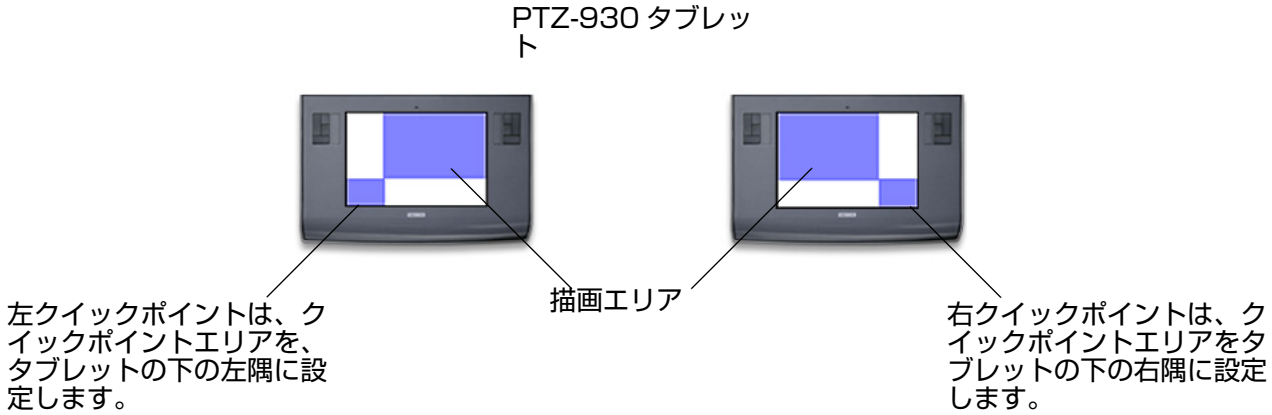
- **操作面全体**：タブレットの入力エリア全体を画面の表示部に割り当てます。標準設定です。
- **一部分**：このオプションで、タブレットの入力エリアの一部分をモニタ画面に割り当てます。「一部分」を選択すると、「操作面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

次の中から、タブレットの一部分を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、モニタ画面に割り当てるタブレット入力エリアを設定します。背景の画像は、タブレットを表しています。
- デバイスを使用して、タブレット入力エリアを選択します。「開始」ボタンをクリックします。「タブレットの一部分」を定義しながら、表示されるメッセージに従って、割り当てるタブレットの領域を設定します。
- タブレット入力エリアの上、下、左、右の境界に数値を入力します。値は、タブレット入力エリアの上の左隅から測定されます。数値は、タブレット解像度と同等です。メッセージに従って確認してください。



- **左クイックポイントと右クイックポイント：** このオプション（PTZ-930、PTZ-1231W で利用することができます）は、描画のための大きな領域と、メニューの選択や機能の実行などシステムの操作を行うクイックナビゲーションのための小さな領域の 2 つにタブレットを分割します。2つの領域は、「操作面の一部分」ダイアログボックスで定義する表示エリアに割り当てるか、または標準設定で画面全体に割り当てられます。このオプションは、ポップアップメニューから選択したり、または選択を解除することができます。 詳細については、ポップアップメニューのカスタマイズをご覧ください。



補足：クイックポイントエリアと描画エリアは、タブレット作業面のクロスマークで指示されます。すべてのクイックポイントエリアと描画エリアは、標準モニタ (縦横比率 3:4) と同じ縦横比を保ちます。

複数モニタへのマッピング

複数のモニタを使って作業している場合、タブレットは、システムの構成方法に基づいて各モニタに割り当てられます。標準設定で、複数のモニタを使用して画面を拡張している場合、タブレットは、それを 1 つの画面として表示部全体に割り当てられます。ミラーモードを利用している場合、タブレットは各モニタの画面に割り当てられ、画面のポインタは各モニタに同時に表示されます。

複数モニタを使用するコンピュータとオペレーティングシステムの構成については、ハードウェアとオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

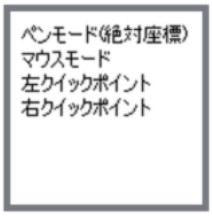
複数モニタ用に設定されたコンピュータを正しく設定した後、コントロールパネルを開いて、オプションを変更することにより、タブレットのマッピングを調整することができます。

複数モニタで作業する場合、ファンクションキーにマッピング画面切り替え機能を割り当てることができます。これによって、プライマリディスプレイと他のモニタ間のタブレットマッピングとポインタの位置を切り替えることができます。

ファンクションのカスタマイズ

Intuos3 タブレットは、Intuos3 ペンまたはマウスと同様、簡単にカスタマイズすることができます。コントロールパネルを開いて、「入力デバイス」リストから「ファンクション」アイコンを選択します。タブを選択して、利用可能なオプションを使用して設定を変更します。

ファンクションキーのカスタマイズ
トラックパッドのカスタマイズ



ポップアップメニューのカスタマイズ

特定のアプリケーションに対する設定

ファンクションキーのカスタマイズ

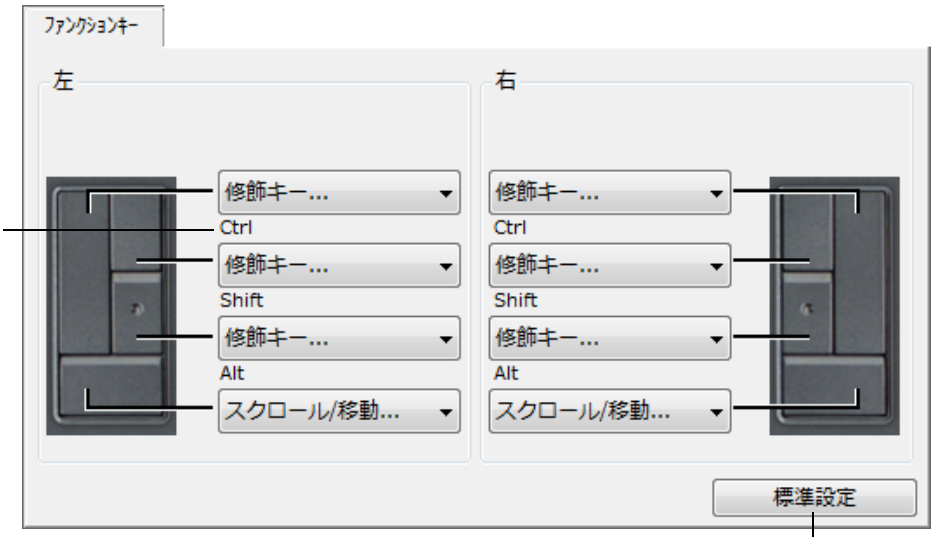
ファンクションキーを、修飾キー、キーストローク、マッピング画面切り替え、あるいは他の機能を実行するのにカスタマイズすることができます。「ファンクションキー」タブを選択すると、現在選択されている各ファンクションキーの機能が対応するプルダウンメニューに表示されます。標準設定のファンクションキーの設定については ファンクションキーを使うをご覧ください。利用可能なオプションの説明については、 ボタン機能 をご覧ください。

ファンクションキーをカスタマイズするには、対応するファンクションキープルダウンメニューからオプション項目を選択します。PTZ-431W タブレットで作業する場合、左キーグループのみ利用することができます。

補足：ファンクションキー機能をアプリケーションを指定して定義することができます。このタブで行った変更は、コントロールパネルの「アプリケーション」リストで現在選択されている項目に適用されます。アプリケーションごとの設定を定義しない場合、タブの設定はすべてのアプリケーションに適用されます。

プルダウンメニューから、ファンクションキーを押した時に実行するボタン機能 を選択します。

選択した項目がプルダウンメニューか、またはメニューの下に表示されます。



タブの設定を初期設定の状態に戻します。

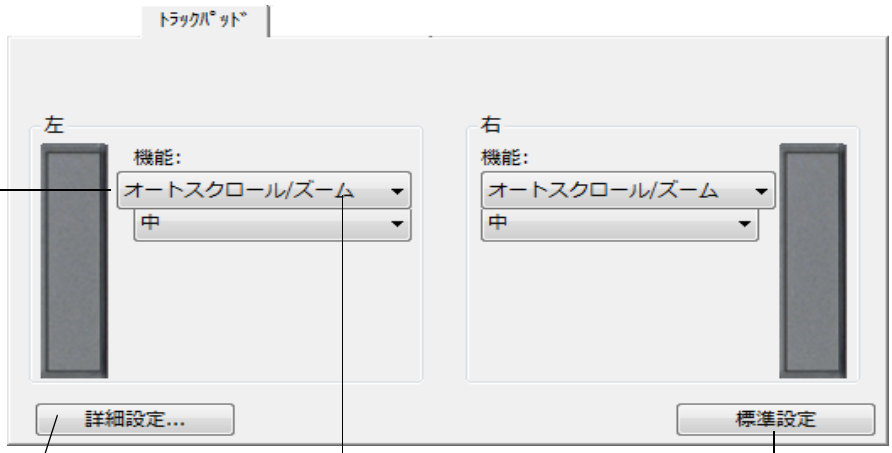
トラックパッドのカスタマイズ

「トラックパッド」タブを選択すると、現在、設定されているトラックパッドの機能が表示されます。トラックパッドは、ズーム、スクロール、キーストローク操作を実行するようにカスタマイズすることができます。トラックパッドを停止させておいて、新しい機能を割り当てたり、または標準設定を更新したりすることもできます。PTZ-431W タブレットで作業する場合、「左」トラックパッドのみ利用することができます。トラックパッドを使う では、トラックパッドでの作業に関する情報が記載されています。

補足：トラックパッド機能をアプリケーションを指定して定義することができます。このタブで行う変更は、コントロールパネルの「アプリケーション」リストで選択されているアイコンに適用します。

トラックパッドをカスタマイズするには、トラックパッドの「機能」を選択します。

- 「オートスクロール／ズーム」は、トラックパッドに対する標準設定です。
  これが設定されていると、トラックパッドはほとんどのグラフィックアプリケーションでズーム操作を、他のアプリケーションではスクロール操作を行います。
- 「スクロール」を選択して、トラックパッドスクロールを設定します。
- 「ズーム」を選択して、トラックパッドズームを設定します。
- 「キーストローク」を選択して、トラックパッドキーストロークを設定します。
- 「トラックパッド」機能を停止させる場合、「無効」を選択します。



トラックパッドのスクロールの速度を選択します。

「トラックパッド」タブの設定を標準設定の状態に戻します。

クリックして、「 トラックパッド詳細設定 」ダイアログボックスを表示させ、「特殊ファンクション領域」を有効にするか、または無効にできます。詳細については トラックパッドの詳細設定 をご覧ください。

- **トラックパッドスクロールの設定**：トラックパッドをスクロール操作だけが働くようにカスタマイズすることができます。スクロールを選択すると、トラックパッド上で奥と手前に指を動かすことにより、ほとんどのアプリケーションでスクロール操作を行うことができます。

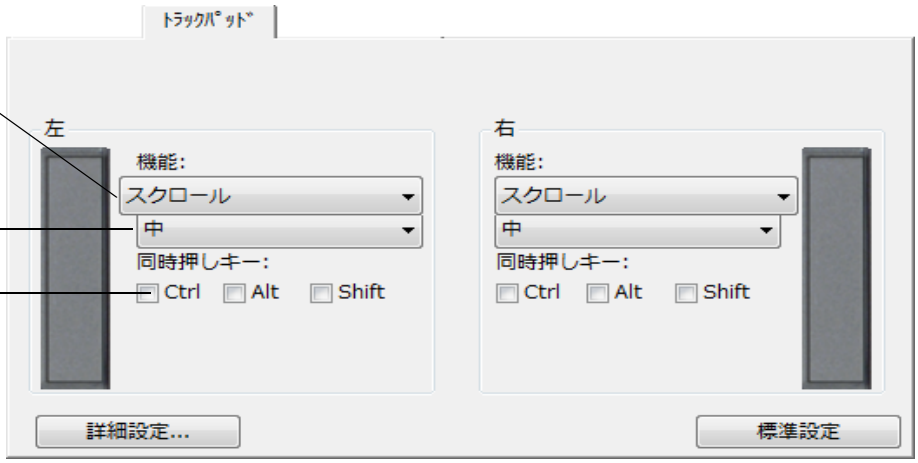
  補足：アプリケーションによっては、スクロールイベントがズームイベントとして処理されることがあります。完全にスクロールが無視されることもあります。

トラックパッドの「機能」プルダウンメニューから「スクロール」を選択すると、その下にトラックパッドに対するスクロールオプションが表示されます。

スクロールのスピードを選択します。

1つ、あるいは複数の「同時押しキー」を選択すると、選択したオプションがスクロール操作とともにアプリケーションに送られます。これらをアプリケーション内で、ズーム操作や他の動作を実行するのに使用できます。

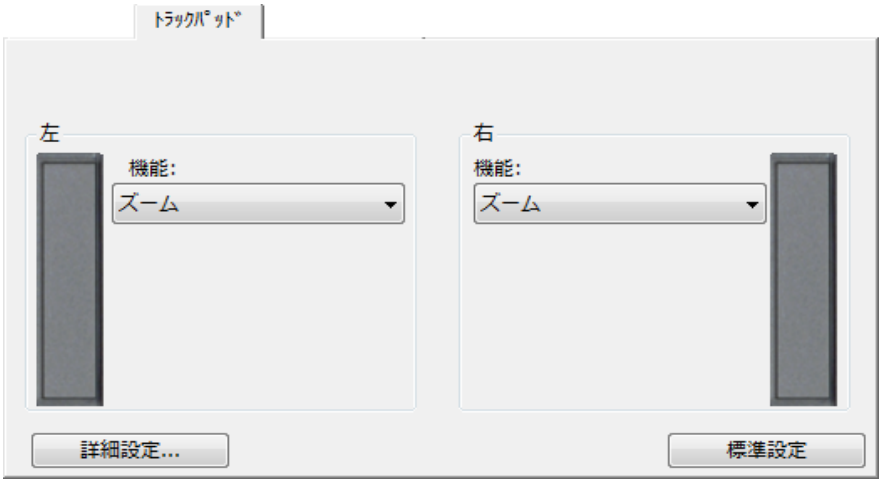
Macintosh：利用可能なオプションは、[option]、[command(アップルキー)]、[control]、[shift] キーです。



ヒント：Photoshop CS2 で作業していて、画面上のポインタの現在の位置の周辺を拡大するには、トラックパッドのスクロールオプションを選択します。次に、Photoshop CS2 で「編集」、「環境設定」、「一般」で、表示されるダイアログボックスで、「スクロールホイールでズーム」オプションをチェックして「OK」をクリックします。

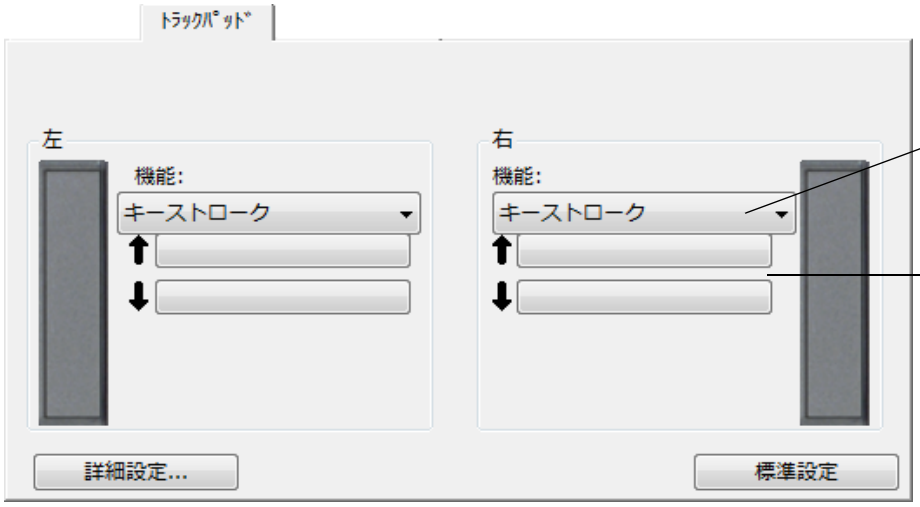
- **トラックパッドズーム操作の設定**：ズーム操作だけが働くように、トラックパッドをカスタマイズすることができます。
「ズーム」を選択すると、トラックパッド上で指を上下に滑らせることにより、ほとんどのグラフィックアプリケーションで、ズーム操作が実行されます。

  補足：アプリケーションによっては、ズームイベントがスクロールイベントとして処理されることがあります。完全にズーム操作が無視されることもあります。



- **トラックパッドキーストローク操作の設定**：キーストローク動作を実行するように、トラックパッドをカスタマイズすることができます。「キーストローク」機能をトラックパッドに設定すると、１つのキーストローク動作がトラックパッドの各イベントに送られます。

  補足：アプリケーションごとにサポートされているキーストロークショートカットについては、アプリケーションに付属するドキュメントをご覧ください。



「機能」のプルダウンメニューから「キーストローク」を選択すると、その下にトラックパッドに対するキーストロークオプションが表示されます。

指をトラックパッドのいずれかの方向へ動かすか、またはペン先をトラックパッドの内側のペン先が動作する領域で動かすと、キーストロークが送られるようになります、これをカスタマイズするには、このボタンをクリックして キーストロークの設定を行います。新しいキーストロークの設定が「設定」にボタン名として表示されます。

トラックパッドの詳細設定

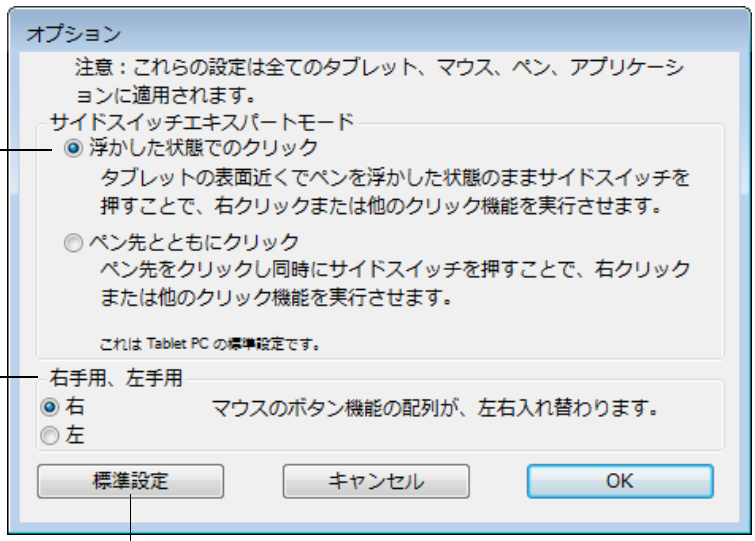
タブレットのトラックパッドは「トラックパッド詳細設定」ダイアログボックスのなかで、さらにカスタマイズすることができます。

「トラックパッド」タブの「詳細設定」ボタンをクリックすると、「トラックパッド詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックス内の設定は全体におよび、すべてのアプリケーションに適用されます。

トラックパッドの連続操作および単独操作を使用しない場合、このボックスの選択を解除することで、オプションを無効にすることができます。標準設定では、選択されています。

トラックパッドを使うは、特殊ファンクション領域の機能について説明します。

左または右のボックスをチェックすると、指先での操作が無効になり、Intuos3 ペンでコントロールできるようになります。トラックパッド部分で手を動かしてしまうような予想外の操作を避けるために、これらの設定を使います。初期設定ではチェックが外されています。



ダイアログボックスのオプションを標準設定に戻します。

ポップアップメニューのカスタマイズ

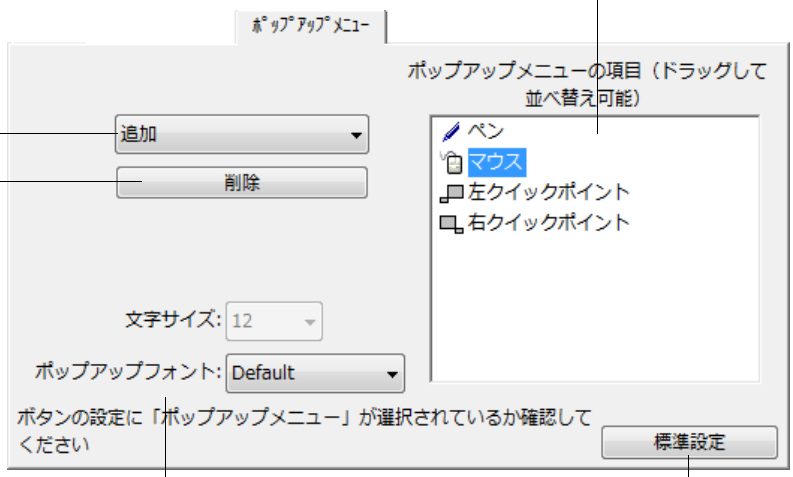
「ポップアップメニュー」タブを使用して、「ポップアップメニュー」リストに表示する機能を設定します。

「ポップアップメニュー」を表示するには、デバイスボタンの１つに「ポップアップメニュー」機能を設定します。ボタンを押すと、「ポップアップメニュー」が表示されます。「ポップアップメニュー」から利用する項目をクリックして選択します。選択せずに、「ポップアップメニュー」を閉じるには、「ポップアップメニュー」の外側でクリックします。

「ポップアップメニュー」に設定された機能を、一覧表示します。項目の順序を変更するには、新しい位置までドラッグします。項目をダブルクリックすると、編集することができます。

「ポップアップメニュー」リストに追加するには、ボタン機能 オプションを選択します。

選択した項目をリストから削除します。



ポップアップメニューの表示（文字サイズとポップアップフォント）を変更できます。

タブの設定を標準設定の状態に戻します。

重要：この操作により定義したポップアップメニューの項目は削除されます。

補足：

「ペンモード」は、ポインタが絶対座標で位置します。

「マウスモード」は、ポインタが相対座標で位置します。「マウス」モードを「ポップアップメニュー」リストに追加すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速とスピードが調整できます。

左クイックポイントと右クイックポイントオプションは、Intuos3 PTZ-930 サイズのタブレットで利用できます。

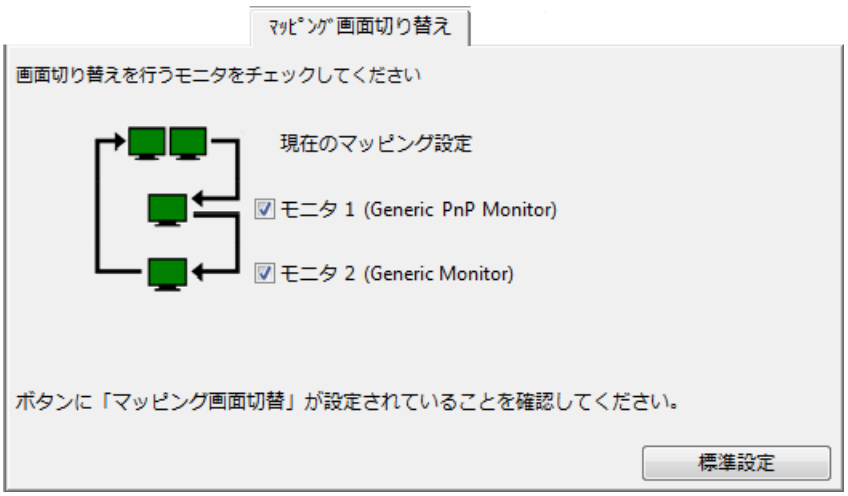
マッピング画面切り替え機能を使う

マッピング画面切り替えは、マルチモニタ環境のみで使用することができます。この機能を使うと、すべてのディスプレイを使用するのか、あるいは１つだけディスプレイを使用して作業するのかを選択できるようになります。「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーの１つに設定すると、マッピングタブで設定されているマッピングと各モニタ間で順番にタブレットのマッピングを切り替えることができます。

Intuos3 タブレットがマルチモニタ環境に接続されている場合、タブレットコントロールパネルにはマッピング画面切り替えタブが表示されます。このタブで、ディスプレイを切り替える順番を設定します。

初期設定では、すべてのモニタが選択されています。
モニタのチェックをはずすと、切り替えの順番からそのモニタをはずすことができます。

- マッピングタブで設定されているマッピングが有効な場合、タブレットとディスプレイのマッピングは、すべてのデバイスとアプリケーションに対して設定されたマッピングタブの内容に従います。
- 次のディスプレイに切り替えると、各デバイスの有効な操作エリアがそのディスプレイに割り当てられます（ペンモード）。
- マッピングタブでのタブレットの向き、縦横比を保持、タブレット操作エリアの設定は、デバイスとアプリケーションすべてに適用されます。
- 最後にチェックしたディスプレイのあと数回切り替えると、マッピングタブの基のマッピング設定にシステムを戻します。



次の動作で切り替えの順番を基のマッピングに戻すことができます。

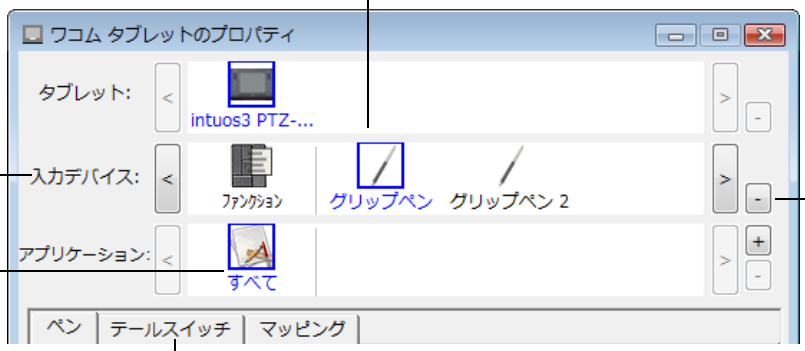
- 筆圧をサポートするグラフィックアプリケーションを起動します。
- システムをログアウトするか、再起動します。
- ユーザを切り替えます（初めのユーザに切り替え）。
- システムをスリープモードにします。
- 「マッピング」タブまたは「マッピングタブ切り替え」タブの設定を変更します。
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更します。
- 「マッピング切り替え」機能を使用します。
- ポップアップメニューから「ペンモード」または「マウスモード」を選択します。

ヒント：「ディスプレイ全体」オプションを含めずに、モニタ間を切り替えるには、「マッピング画面切り替え」タブ上の１番目のディスプレイを無効にします。次に、「マッピング」タブで１番目のディスプレイに対して現在の「表示エリア」を設定します。

重要：「マッピング画面切り替え」で「特定のアプリケーションに対する設定」を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーションに「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンがあるかを確認してください。「特定のアプリケーションに対する設定」を作成する前に、ファンクションキーに「マッピング画面切り替え」を割り当てることをお勧めします。

複数デバイスでの作業

コントロールパネルは、Intuos3 デバイスのカスタマイズと管理に役立つように設計されています。コントロールパネルを開く際に使用したデバイスが自動的に選択され、そのデバイスに対する適切なタブが表示されます。



ヒント：デバイスのアイコンをダブルクリックして、新しい名前を入力することで、デバイスに名前を付けることができます。例えば、「描画ペン」や「ペイントブラシ」などです。「ファンクション」アイコンの名前は変えることはできません。

コントロールパネルの「入力デバイス」リストにデバイスを追加するには、Intuos3 タブレット上で追加するデバイスを使用してください。

- 新しいデバイスを初めてタブレットに置いたとき、標準設定でデバイスは動作します。同じデバイスがあったとしても、その設定が適用されることはありません。コントロールパネルを開くと、デバイスは自動的に「入力デバイス」リストに追加されます。タブの設定を変更して、デバイスをカスタマイズすることができます。
- 「入力デバイス」リストに追加したデバイスを選択すると、そのデバイスに適したタブの設定が表示されます。タブの設定に加えた変更は、今後、そのデバイスに適用されます。変更はすぐに反映されます。

選択したデバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの［ー］ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから、「削除」をクリックして、選択を確認します。選択したデバイスは、そのデバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。削除したデバイスをタブレットの上に戻すと、「入力デバイス」リストに再び追加されます。

補足：「ファンクション」アイコンは「入力デバイス」リストから削除されません。

特定のアプリケーションに対する設定

特定のアプリケーションに対して、使用するデバイスをカスタマイズします。例えば、あるアプリケーションでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のアプリケーションでは柔らかく設定することができます。「アプリケーション」リストにアプリケーションを追加し、次に追加したアプリケーションに対して入力デバイスの設定をカスタマイズします。

- アプリケーションごとの設定を行わずに、デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、アプリケーションすべてにデバイスの設定を適用します。以下の例では、特定のアプリケーションに対する設定が Intuos3 マウスに行われていません。そのため、「すべて」アイコンが表示されます。マウスの設定はすべてのアプリケーションに共通です。

- 特定のアプリケーションに対する設定が、「アプリケーション」リストに加わると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わります。アプリケーションのアイコンが新しく追加されたアプリケーションに対して表示されます。次の例では、Photoshop と Corel Painter Essentials に対してペンの設定を追加しました。

  上記の例で、「その他すべて」アイコンを選択してタブの設定を変更する場合、変更は Photoshop と Corel Painter Essentials 以外のすべてのアプリケーションの「ペン」の設定に適用されます。Photoshop と Corel Painter Essentials には個別のペンの設定が適用されます。「Photoshop」アイコンを選択して、タブの設定に変更を加えると、行った変更は Photoshop を使用しているときのペンに対してのみ適用されます。同様に、「Corel Painter Essentials」アイコンを選択して、タブの設定に変更を加えると、行った変更は Corel Painter Essentials を使用するときの「ペン」に対してのみ適用されます。

特定のアプリケーションに対する設定を作成すると、選択したデバイスとアプリケーションに対して個別のグループを作成しています。詳細については次のセクションをご覧ください。

特定のアプリケーションに対する設定を作成する
特定のデバイスとアプリケーションに対する設定を変更する
特定のアプリケーションに対する設定を削除する

特定のアプリケーションに対する設定を作成する

特定のアプリケーションに対する設定を作成するには、初めに、特定のアプリケーションに対する設定を作成するタブレットとデバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストの［+］ボタンをクリックすると、［アプリケーションを登録］ダイアログボックスが表示されます。

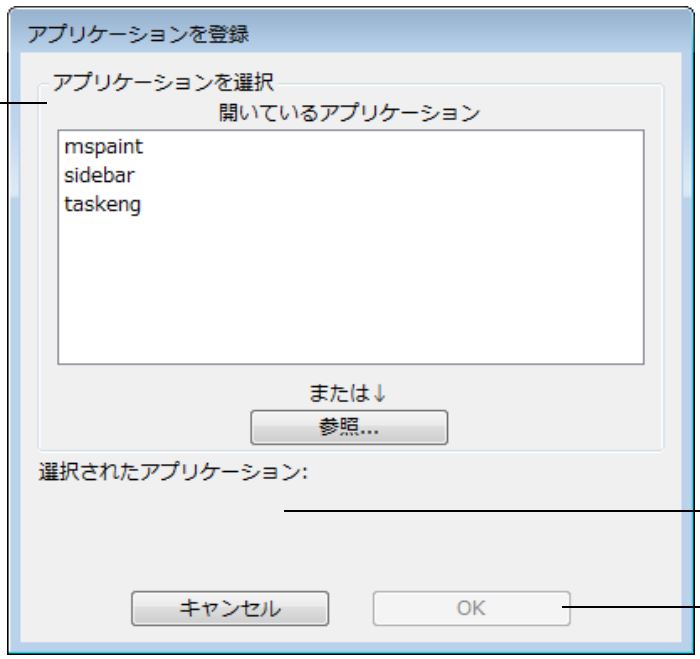
アプリケーションを選択するには、次の2つの方法のうちいずれかを選択します。

- 特別な設定を作成するアプリケーションを開きます。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのアプリケーションを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているアプリケーションの実行ファイルを選択します。

「選択されたアプリケーション」に、選択した内容が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：2つのプログラムが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのプログラムはカスタマイズした設定を共有します。



選択したアプリケーションのパスが表示されます。

「OK」をクリックして選択を確定し、ダイアログボックスを閉

アプリケーションを追加したあと、各デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したアプリケーションのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したアプリケーションを選択して、次にデバイスと追加したアプリケーションに対してコントロールパネルのタブの設定をカスタマイズします。

一度、特定のアプリケーションに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったアプリケーションは「その他すべて」のデバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のアプリケーションに対して設定を作成してみてください。それにより、ペンが使いやすくなったら、さらに、この設定を作成してみてください。

特定のデバイスとアプリケーションに対する設定を変更する

指定のアプリケーションに対してデバイスの設定を変更するには、デバイスとアプリケーションを選択して、次にタブの設定をカスタマイズします。

特定のアプリケーションに対する設定を削除する

特定のアプリケーションに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから、削除するアプリケーションを選択します。
2. 「アプリケーション」リストの [−] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして、選択を確認します。アプリケーションは、作成したデバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント： 1つのデバイスから特定のアプリケーションに対する設定をすべて削除するには、デバイスリストからデバイスを削除します。
次にデバイスをタブレットの上に戻すと、デバイスは、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。

トラブルシューティング

もし、トラブルがあった場合、以下のことを行ってください。

1. ペンタブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行なってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を参照ください。
2. トラブルシューティング情報をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. Windows の場合「お読みください」、Macintosh の場合「Read Me .rtf」を開いて、最新情報をお読みください。
4. タブレットと入力デバイスを診断します。タブレットのテストと入力デバイスのテストのテストをご覧ください。
5. Intuos3 と新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、新しいタブレットドライバが利用できるかチェックしてください。更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報については、ドライバのダウンロードをご覧ください。ワコムは新しい製品との互換性を維持するためにドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
6. ワコムのホームページの FAQ（よくある質問）を参照してください。
7. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。

タブレットのテスト
入力デバイスのテスト
トラブルシューティング情報
テクニカルサポート
ドライバのダウンロード

タブレットのテスト

コンピュータの電源を入れ、オペレーティングシステムの読み込みが終了したら、タブレットが有効な USB ポートに適切に接続されていることを確認してください。次に、以下のテストを行ってください。

1. **タブレットのチェック**
   タブレットがコンピュータに適切に接続され、タブレットが USB デバイスとして登録されると、タブレットの青色のステータスランプが点灯します。ランプが点灯したら、次のステップ2に進んでください。

   コンピュータの電源を入れ、システムが完全に読み込まれても、ステータスランプが点灯しない場合：

   - タブレットの USB ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。Intuos3 は、コンピュータ本体に設置されている USB ポートに接続する必要があります。
   - タブレットを、別の電源の入った USB ポートに接続するか、または別のコンピュータの電源の入った USB ポートに接続してみてください。

   コンピュータの電源を入れて、オペレーティングシステムの起動が終了しても、タブレットのステータスランプが点灯しない場合、USB ポートが機能していないかもしれません。タブレットが有効な USB ポートに接続されていることを確認するには、システムの BIOS の設定をチェックする必要があります。

   詳細なテスト情報については、入力デバイスのテストもご覧ください。
2. **グリップペンのチェック**
   - タブレットの入力エリアを横切るようにペンを移動させてみてください。画面上のポインタは、モニタ画面を対応する方向へ移動します。
   - タブレットにペン先を押しあてます。ステータスランプが青色から緑色に変わります。
   - 次に、ペン先に荷重がかからないようにして、タブレットの面からおおよそ 6mm 以内のところで留めておき、サイドスイッチを押します。ステータスランプが、再度、青色から緑色に変わります。
   - ペンを回転させ、タブレットにテールスイッチを押しあてます。ステータスランプが青色から緑色に変わります。詳細なテスト情報については、入力デバイスのテスト をご覧ください。
3. **他のデバイスをチェック**

   入力デバイスのテストをご覧ください。

これらのテストでうまく動作しない場合、デバイス、またはタブレットに欠陥があるかもしれません。テクニカルサポートをご覧ください。

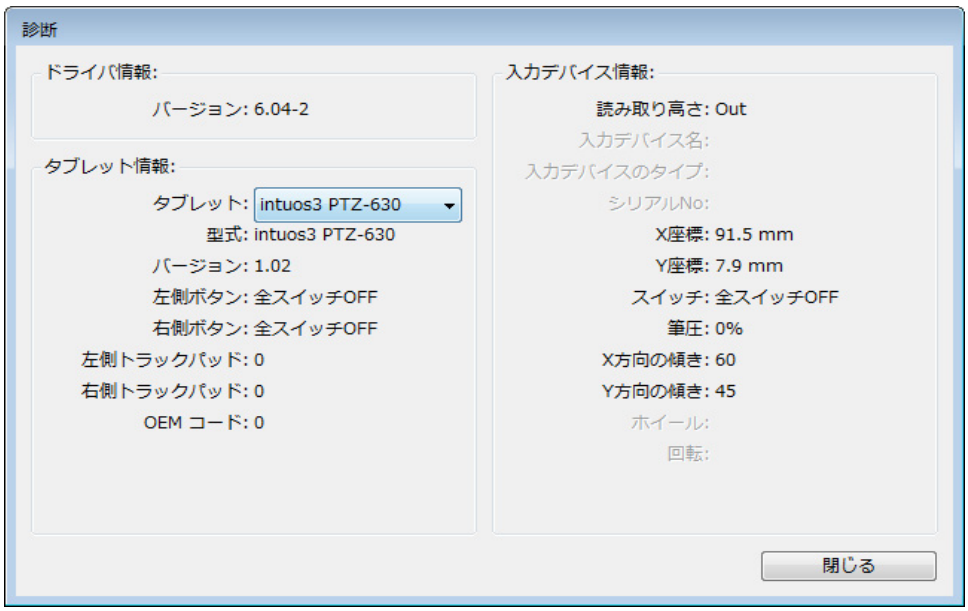
入力デバイスのテスト

入力デバイスが、思うように動作しない場合、初めに割り当てた機能をチェックするか、あるいは入力デバイスを標準設定の状態に戻すことをお勧めします。入力デバイスを標準設定の状態に戻すには、コントロールパネルの「入力デバイス」リストの右端にある [−] ボタンをクリックして入力デバイスを削除します。入力デバイスが削除されたあと、タブレットに再び置くと、入力デバイスは標準設定の状態でリストに再び追加されます。

コントロールパネルを開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されますので、「診断」ボタンをクリックして、「診断」ダイアログボックスを開きます。「診断」ダイアログボックスには、タブレットハードウェアと入力デバイスに関する情報が表示されます。この情報はタブレットと入力デバイスをテストする場合に使用されます。

複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で入力デバイスをテストするタブレットが選択されていることを確認してください。

補足：入力デバイスのボタンをテストする場合、ボタンが「ポップアップメニュー」または「起動」に設定されていると、ボタンを押すとその機能が実行します。このような場合、テストの前にボタンの機能を変更してください。



ファンクションキーのテスト
トラックパッドのテスト
ペンのテスト
マウスのテスト

ファンクションキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、ファンクションキーをテストします。「タブレット情報」欄をご覧ください。複数のタブレットが、システムに接続されている場合、「タブレット情報」欄にテストするタブレットが選択されていることを確認します。
2. ファンクションキーを１つずつ押して、テストします。キーを押すと、左右のキーグループのどちらをテストしているかにより、「左側キー」、または「右側キー」のカテゴリのとなりに番号が表示されます。
3. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

トラックパッドのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、トラックパッドをテストします。「タブレット情報」欄をご覧ください。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄にテストするタブレットが選択されていることを確認します。
2. 初めに、テストするトラックパッド上を奥と手前に指を滑らせます。トラックパッドに触れて、指先を滑らせるように動かすと、各「トラックパッド」に対する現在の指の位置を示すように「左側トラックパッド」または「右側トラックパッド」のとなりに数値が表示されます。
3. 次に、タブレットの操作エリアにもっとも近いトラックパッドの端に沿うようにペン先を奥と手前に滑らせます。この部分に沿ってペン先を動かすと、「左側トラックパッド」または「右側トラックパッド」のとなりに、数値で「トラックパッド」に対する現在のペンの位置が示されます。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを終了します。

ペンのテスト

1. 「入力デバイス情報」欄を見ながら、Intuos3 デバイスをタブレットの操作面から高さ 6mm を越えないように入れます。「読み取り高さ」「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル NO」の値が表示されます。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で、デバイスをテストするタブレットが選択されていることを確認してください。
2. タブレットの面でペンを移動させます。X 座標と Y 座標のデータの値が、デバイスの位置を反映して変化します。
3. Intuos3 ペンのボタンをテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいは消しゴムをタブレットの上で押すと、タブレットのステータスランプが青色から緑色に変わります。
   - タブレット面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。（筆圧は適用される圧力がない0 % から、すべての圧力が適用されるときの１００%まで変わります。）
   - 次に、タブレットにペン先を押しあてずに、サイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。
     （Intuos3 ペンに対して、サイドスイッチの両方のスイッチに対してこれを行います。）

ペン	ペン先 = 1、サイドスイッチ（下の位置）=2 、サイドスイッチ (上の位置）＝3、消しゴム＝1
エアブラシ	ペン先＝1、サイドスイッチ＝2、消しゴム＝1

   - タブレットにデバイスのテールスイッチ（消しゴム）を押しあてます。スイッチの状態と筆圧の値が変わります（筆圧は0 % から１００%まで変わります）。
   - エアブラシについて、奥にホイールを回します。ホイールを奥へ完全に回すと、およそ0の値にまで減少します。ホイールを手前に回します。ホイールの値は、手前に完全に回すと、およそ１０００まで増加します。
4. ペンを垂直位置から右方向へ傾けて、X 軸に対する傾きをテストします。X の「傾き」の値は、およそ0から＋ 60 まで変わります。ペンを垂直位置から左方向へ傾けます。X の「傾き」の値は、およそ0からー 60 まで変わります。
5. ペンを垂直位置からタブレットの手前に傾けて、Y 軸に対する傾きをテストします。Y の「傾き」の値は、およそ0から＋ 60 まで変わります。ペンを垂直位置からタブレットの向こう側へ傾けます。Y の「傾き」の値は、およそ0からー 60 まで変わります。
6. マーカーをテストする場合、垂直にペンを持ち、ペン軸の周辺を回転させることによりペンの回転をテストします。「回転」の値が変化します。
7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを終了します。

マウスのテスト

1.「診断」ダイアログボックスを開いた状態で、Intuos3 マウスをタブレットの操作面に置きます。各ボタンをクリックして、ボタンをテストします。タブレットのステータスランプの色が変わり、ボタンをそれぞれクリックすると、「スイッチ」の状態が変わります。

Intuos3 マウス

2.「診断」ダイアログボックスを開くと、ホイールの状態は０です。ホイールを手前に回します。ホイールの状態は０から＋１に変わります。
3. ホイールを奥へ回します。ホイールの状態は－ 1 に変わります。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

トラブルシューティング情報

デバイス、またはタブレットで問題が生じた場合、次の表を参照してください。問題が説明され、解決策が提供されていたら、試してください。または、「Read Me」ファイルを参照してください。最新の情報が記載されています。

問題のより詳細な情報については、ワコムのホームページをご覧ください。
http://tablet.wacom.co.jp/support

一般の問題
Windows の問題
Macintosh の問題

一般の問題

タブレットのステータスランプが点灯しない。	タブレットの USB ケーブルがコンピュータ本体の USB ポートに接続されていることを確認してください。
タブレットを接続した後、メッセージが表示され、USB デバイスが必要以上の電源を要求していることが示されます。	タブレットが初期設定の USB ポートに接続されていることを確認します。
ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧感触を使用して線が描けない。	タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。 タブレットドライバがインストールされていて、動作するか確認してください。タブレット CD をコンピュータの CD-ROM に挿入し、タブレットドライバをインストールします。
ペンが筆圧を検出しない。	アプリケーションによっては筆圧機能をオンにすることが必要なものもあります。または、ペンの前に選択したツールが筆圧検出ツールとして反応することがあります。
クリックが利かない。	「ペン先」を柔らかくしてください。(ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。)

ペン先でダブルクリックが利かない。	タブレットの操作面の同じ場所を２回、速くたたいていることを確認してください。 サイドスイッチでダブルクリックすることをお勧めします (クリックの方法をご覧ください)。ペン先の感触とダブルクリックの調整もご覧ください。 ファンクションキーの１つを「ダブルクリック」に設定して、ダブルクリックを実行します。 ペン先の「ダブルクリック距離」を大きくします (ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください)。 「ペン先の感触」を柔らかく設定します（ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください)。 Windows：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定します。クリックをご覧ください。
ペンがあらゆるものを選択する。描くことが止まらない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダーを「硬い」ほうへ移動させます。あるいは、「詳細」ボタンを選択して「クリック圧」の設定を大きくします。これで効果がない場合は、 入力デバイスのテストをご覧ください。
消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。	コントロールパネルを開いて、「テールスイッチ（消しゴム)」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダーを「硬い」ほうへ移動させます。あるいは、「詳細」ボタンを選択して「クリック圧」の設定を大きくします。これで効果がない場合は、入力デバイスのテストをご覧ください。
ペンのストロークの開始が遅れる。	「ダブルクリック距離」を少なくしてください。(ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。）動作しない場合、「OFF」位置へ「ダブルクリック距離」のスライダーをドラッグして「ダブルクリックアシスト」をオフにします。
クリックしたり描画する場合、ペンを強く押さなければならない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」のスライダーを「柔らかい」へ移動させます。また、「詳細設定」ボタンを選択して、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を減少させます。
ペン先が利かない。	ペン先を押したとき、ステータスランプが青色から緑色に変わることを確認してください。色が変わらない場合、タブレット本体に問題があるかもしれません。(入力デバイスのテストをご覧ください。） コントロールパネルの「ペン」タブで、ペン先にクリック機能が割り当てられていることを確認してください。 必ずペンタブレットに付属のペンを使用してください。他のペンは、Intuos3 タブレットで正しく機能しない場合があります。 タブレットと入力デバイスのテストを参考に、ペン操作を確認してください。テストのいずれかが不合格の場合は、ハードウェアの故障が考えられます。
入力デバイスに対して機能の設定を変更しても反映されていない。	使用中のデバイスとアプリケーションに対して、設定が変更されているか確認してください。 複数デバイスでの作業と特定のアプリケーションに対する設定をご覧ください。

サイドスイッチが利かない。	タブレットの操作面から 6mm 以内にペン先が近づいたとき、サイドスイッチを押しているか確認してください。ペン先でタブレットを押さずにこれを行ってください。 コントロールパネルで、サイドスイッチが、使用中のアプリケーションと入力デバイスで実行する機能に設定されていることを確認してください。「サイドスイッチエキスパートモード」オプションの選択が解除されていることも確認してください。(このオプションには、コントロールパネルの「詳細設定」ボタンをクリックしてアクセスします。 サイドスイッチを押すと、タブレットのステータスランプが青色から緑色に変わることを確認してください。変わらない場合、タブレット本体が故障しているかもしれません。(入力デバイスのテストをご覧ください。)
画面のポインタがジャンプして引き戻される。	Intuos3 デバイスを使用しないとき、または他のデバイスを利用しているとき、Intuos3 デバイスをタブレットの上に置かないでください。タブレットの上に置いたままにして、ほかの入力デバイスを利用すると、画面のポインタの位置決めができなくなる場合があります。
ポインタが画面上の思う位置に移動しません。またはペイントアプリケーションで、描いた線とポインタの位置が合いません。	コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを指定します。「ペン」モードが選択され、選択したデバイスとアプリケーションに対して「表示エリア」が「操作面全体」に設定されていることを確認してください。効果がない場合、「標準設定」ボタンをクリックして、画面のマッピングにタブレットを回復します。それでも効果がない場合、タブレットの設定ファイルを削除してください。(次の項目をご覧ください)
タブレットの設定ファイルが壊れている。 または、設定ファイルを標準設定の状態にもどす。	次のようにしてタブレットの設定ファイルを削除します。: **Windows**:「スタート」メニューをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。次に「Wacom タブレット」→「Tablet Preference File Utility」を選択します。ダイアログボックスから、「Remove My Preference File」ボタンをクリックして、カレントユーザーの Preference を削除します。Windows Vista や XP 上の複数のユーザーの Preference を削除するには「Remove My Preference Files」ボタンをクリックします。すべてのユーザーの Preference を削除するには、administrator 権限が必要です。実行中の、現在開いているタブレット用アプリケーションを再起動してください。 **Mac OS X**:シングルユーザーの場合、初めに「移動」メニューから「ホーム」フォルダを選択します。次にホーム「ライブラリ」フォルダを開きます。ホーム「ライブラリ」フォルダの中の「Preferences」フォルダを開いて「com.wacom.wacomtablet.prefs」ファイルを削除します。ログアウトしてログインします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態で新しい設定ファイルが作成されます。 複数ユーザーの場合、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットの削除」ユーティリティを実行します。ユーティリティを起動して、「全ての設定ファイルを削除」ボタンをクリックします。タブレットドライバは再起動され、新しい設定ファイルを標準設定で作成します。 **補足**:「Wacom Tablet.Preference」ファイルを「ライブラリ」フォルダの「PreferencePanes」フォルダから手動で削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合と、今後「ワコムタブレットの削除」ユーティリティを使用する場合にのみ削除されます。

コンピュータが節電モードにならない。	Intuos3 入力デバイスを使用しない場合、タブレット面の上にデバイスを置かないでください。デバイスを置いたままにすると、タブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。
画面のポインタが揺れたり、飛び回ったりする。	まれに、タブレットはコンピュータモニタあるいは AM ラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。モニタからの電磁波による影響に気付いた場合、タブレットをモニタから少なくとも 30cm ほど離してみてください。あるいは、モニタのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。
Intuos3 ペンがタブレットのトラックパッドで動作しない。	ペンは、タブレットの入力エリアに最も近いトラックパッドの縁に沿った狭い領域でのみ動作します。
マルチモニタシステムで Intuos3 を使用している場合、他のモニタ上でポインタが操作できない。	ファンクションキーの 1 つが「マッピング画面切り替え」に設定されていて、そのボタンを誤って操作した可能性があります。詳細についてはマッピング画面切り替え機能を使うをご覧ください。 マッピングタブの「表示エリア」が「全画面」に設定されていることを確認してください。 マウスモードで、ペンで他のモニタを操作することもできます。マウスモードにするには、初めにサイドスイッチを「ペン⇔マウスモード」に設定します。次に、スイッチを使ってペンモードとマウスモードを切替えます。

WINDOWS の問題

コンピュータのマウスコントロールパネルの右手と左手の設定を変更した後、ペン先が適切に機能しなくなり、Intuos3 マウスデバイスボタン機能が反転する。	この操作は、ワコムデバイスの右手と左手のボタンの設定を反転させます。ワコムデバイスの設定を正しく認識させるには、Windows を再起動させます。

MACINTOSH の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示されます。	タブレットが、起動時に検出されませんでした。USB インターフェースケーブルが接続されていて、タブレット上のステータスランプが青色であることを確認してください。タブレットが電源の入った USB ハブに接続されている場合、ハブが接続されていて有効であることを確認してください。 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択して「ユーティリティ」フォルダを開きます。「システムプロファイラ」を起動して、「デバイスとボリューム」タブを選択します。USB タブレットがプロファイラによって表示されます。USB タブレットが検出されない場合、USB タブレットケーブルの接続を確認するか、あるいはタブレットを別の USB ポートに接続してみてください。 問題が解決しない場合、「アプリケーション／ユーティリティ」フォルダに移動して、「ディスクユーティリティ」プログラムを開きます。「First Aid」タブから「ディスクのアクセス権を修復」を実行します。これで解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。テクニカルサポートをご覧ください。）
Inkwell（インクウェル）が、タブレットで正しくしない。	Inkwell（インクウェル）に問題があるかもしれません。次のようにして、損傷した設定ファイルを削除します。手書き入力認識が有効な場合、設定ファイルは再作成されます。 1. アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。システム環境設定メニューから、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「Handwriting recognation」をオフにします。 2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次に、次の「設定」を削除します。 ・ com.apple.ink.framework.plist ・ com.apple.ink.inkpad.plist ・ com.apple.ink.inkpad.sketch 3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「Handwriting recognation」をオンにします。 4. ワコムタブレットとペンを使って、Inkwell（インクウェル）機能をテストします。 この処理で Inkwell（インクウェル）の問題が解決されずに、さらに支援が必要な場合はアップルコンピュータのサポートに連絡してください。ワコムは、Inkwell（インクウェル）のソフトウェアメーカーではありません。私たちの力でサードパーティのソフトウェアアプリケーションをサポートすることは制限されています。

テクニカルサポート

ワコムタブレットに問題がある場合、初めにタブレットのインストールガイドを読んで、正しくインストールされていることを確認してください。次に、このマニュアルの中のトラブルシューティングの処理を見直してください。

このマニュアルの中に解決法が見つからない場合、プラットフォームの「Read Me」ファイル（ワコムタブレット CD にあります）に、問題に関する最新情報が記載されていることがあります。ワコムのホームページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。

インターネットが接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のソフトウェアドライバがダウンロードすることができます。ドライバのダウンロードをご覧ください。

問題が解決せず、ワコムタブレットが適切に動作しないと思われる場合、ワコムのサポートスタッフに連絡してください。連絡先については、付属の「Intuos3 ユーザーズガイド」の裏表紙をご覧ください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- タブレットのシリアルとモデル番号（タブレットの背面をご覧ください）
- ドライバのバージョン（ワコムタブレット CD をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生した時に使用していたソフトウェアアプリケーションとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生した時に起こったことどう処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードすることができます。

ワコムのホームページ： http://tablet.wacom.co.jp/support

付録

このセクションでは、タブレットとデバイスのお手入れ、タブレットドライバのアンインストール、デジタルインクについて、ライセンスと保証などに関する情報とヒントを説明しています。

タブレットとデバイスのお手入れ
タブレットドライバのアンインストール
Intuos3 タブレット共通の仕様
複数タブレットの設置
Intuos3 レンズカーソル
AutoCAD での作業
Windows Vista でのペン入力機能
製品仕様
製品情報
部品と付属品の注文
製品の保証について

タブレットとデバイスのお手入れ

Intuos3 デバイスとタブレット面は清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりはデバイスに付いて、タブレットの光沢面を傷つけます。柔らかい布を水や刺激の少ない石けん水で濡らし、固く絞って、定期的にタブレットを拭いてください。タブレットとデバイスが長期間ご利用いただけます。水で薄めた刺激の少ないせっけんを使用して、布を湿らせることもできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、プラスチックケースを傷めますので使用しないでください。

タブレットを清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。Intuos3 デバイスとタブレットは分解しないでください。ペンを強くねじると、ペンが壊れる可能性があります。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要：タブレットやペン、マウスに液体をこぼさないように注意してください。タブレットや、マウス、サイドスイッチ (ペン先およびテールスイッチ（消しゴム）を含む) を濡らさないよう、特に注意してください。液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。

芯を交換する

ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。芯が短くなって平らになったら、芯を交換します。ピンセット、先の細くとがったペンチ、あるいは似たような道具で芯を挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。次に新しい芯の先を、止まるまで差し込んでください。

重要： Intuos3 ペンを使用していない間は、ペンスタンドに置くか、あるいは机の上に横にして置いてください。オプション品のエアブラシを使用していない間は、机の上に横にして置いてください。ペン先を止めるような入れ物に入れて、保管しないでください。ペン先を押した状態でペンを収納すると、ペンが故障する場合があります。

警告：子供がペン先やサイドスイッチを飲み込まないようにご注意ください。ペン先またはサイドスイッチは、子供がそれを噛んだりすると抜ける場合があります。

補足：ストローク芯はバネ荷重で、Intuos3 ペン、あるいはエアブラシで作業するときに感触の良さが加わります。ストローク芯の色はグレーで、標準のペン芯と同じ方法で取り付けることができます。

交換部品の注文については、他の部品と付属品をご覧ください。

タブレットドライバのアンインストール

タブレットとタブレットドライバをシステムから削除するには、以下の方法で行ってください。

重要：タブレットドライバをシステムからアンインストールすると、ペンタブレットのタブレット機能は動作しませんが、マウスとしては機能します。

Windows Vista（64 ビット版を含む）：「スタート」ボタンをクリックして、コントロールパネルを選択します。コントロールパネルから「プログラムの削除」を選択します。ダイアログボックスから「タブレット」オプションを選択します。「削除 ...」ボタンをクリックして、画面の指示に従い、タブレットドライバを削除します。

Windows XP（64 ビット版を含む）：
「スタート」をクリックして、「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択します。次に、「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」ウィンドウで、「タブレット」を選択して「削除」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがい、タブレットドライバを削除します。ドライバが削除されたら、タブレットをコンピュータからはずします。

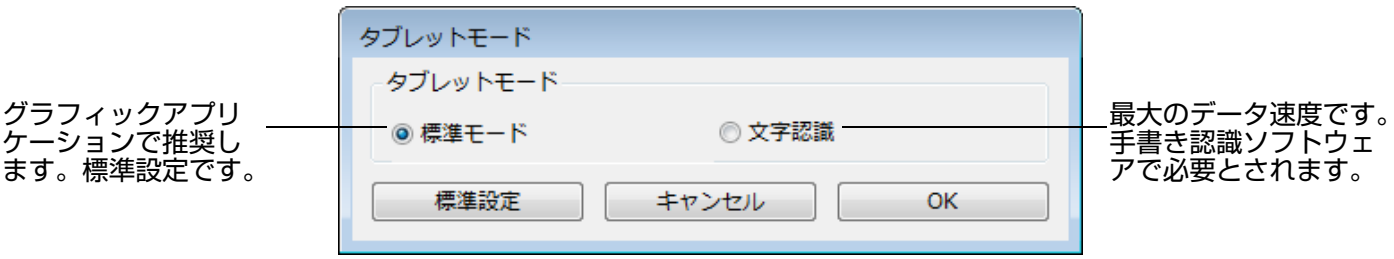
Mac OS X：

「Finder」の「移動」メニューから「アプリケーション」を選択して、「タブレット」フォルダを開きます。「ワコムタブレットの削除」アイコンをダブルクリックして、「タブレットドライバの削除」ボタンを選択します。「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。削除が終了したら、「OK」をクリックします。コンピュータからタブレットをはずします。

補足：パスワードとは Mac のログインパスワードです。

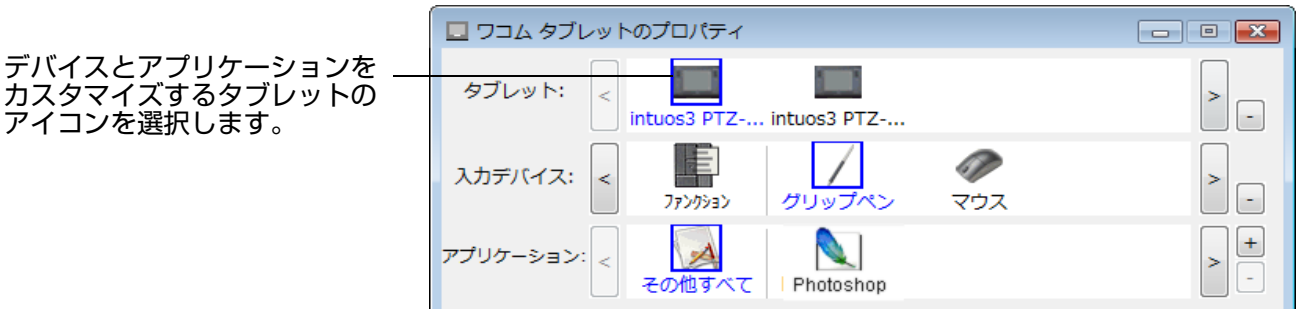
タブレットモードの変更

コントロールパネルの「タブレット」リストで、タブレットアイコンをダブルクリックして、「タブレットモード」ダイアログボックスを表示させます。「タブレットモード」の設定は、すべてのデバイスとアプリケーションに適用します。



複数タブレットの設置

タブレットリストには、サポートされたタブレットでシステムに検出されたものがアイコンで表示されます。変更するタブレットを選択します。



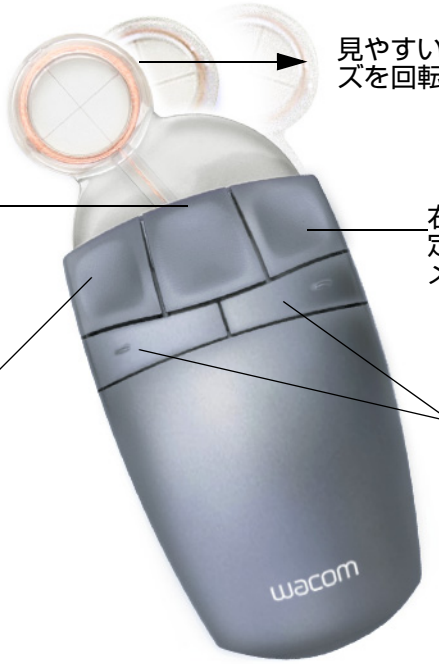
新しいタブレットを追加するには、コンピュータに接続します。

- USB タブレットに対して、システムは USB ポートを検索します。新しいタブレットが検出されると、自動的に初期化されます。
- 複数のタブレットが設置されていると、コントロールパネルを開くのに使用されるタブレットが、デフォルトのタブレットとして選択されます。

ドライバから複数あるタブレットのうちの１つを削除するには：コントロールパネルで、削除するタブレットを選択します。「タブレット」リストのとなりにある［—］ボタンをクリックします。タブレットをドライバに再度追加するには、先にコンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

Intuos3 レンズカーソル

レンズカーソルは座標位置を正確にコンピュータに知らせる理想的なデバイスです。PTZ-1231W タブレットで使うことができます。コンピュータにクロスヘアカーソルの位置を知らせ、グラフィックアプリケーションや CAD アプリケーションで図面をデジタイジングするのに特に役立ちます。



見やすい角度にレンズを回転させます。

中央ボタンは、初期設定で中ボタンクリックに設定されています。

右ボタンは、初期設定で右クリックに設定されています。押すと、ポップアップメニューが表示されます。

左ボタンは、初期設定でクリックに設定されています。選択に使用されるボタンです。

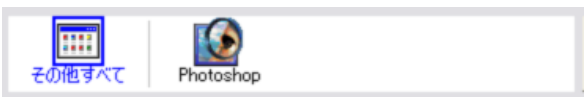
左ボタンと右ボタンは、インターネットブラウザの「戻る」と「進む」機能に設定されています。

レンズカーソルには、プログラム可能なボタンが装備されています。

Intuos3 レンズカーソルの初期設定はマウスモードです。通常のマウスを使うように、画面上のポインタを移動させることができます。図面の電子化にレンズカーソルを使用する場合は、ペンモードに設定する必要があります。

重要：レンズカーソルを使用しない場合は、机の上に置いておきます。Intuos3 デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、他のデバイスを使用した場合、画面上のポインタの位置決めができないことがあります。

レンズカーソル、その他の Intuos3 デバイスのご購入については、部品と付属品の注文をご覧ください



特定のアプリケーションに対する設定

マウスモード

レンズカーソルのカスタマイズ

Intuos3 レンズカーソルボタンの設定を変更するには、レンズカーソルを使ってタブレットのコントロールパネルを開き、「マウス」タブを選択します。Intuos3 ペンのように、各ボタンに対して実行する機能をプルダウンメニューから選択します。利用可能なオプションの詳細について<u>ボタン機能</u>をご覧ください。

レンズカーソルのボタンは、複数ボタンの同時押しが可能です。例えば、1 つのボタンを Ctrl キーをシミュレートするようにプログラムし、別のボタンを Alt キーストロークをシミュレートするようにプログラムした場合、両方のボタンを押すと、Ctrl+Alt がシミュレートできます。

補足：左手で使用できるようにレンズカーソル構成するには、必要に応じて、再度ボタン機能を割り当てます。

レンズカーソルの診断

1.「診断」ダイアログボックスを開いて、タブレットの入力エリアに Intuos3 レンズカーソルを置きます。各ボタンをクリックすることによりボタンをテストします。タブレットのステータスランプの色が変化して、スイッチの状態がクリックした各ボタンに対して変わります。

Intuos3 レンズカーソル

2. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

AUTOCAD での作業

Intuos3 タブレットは、Windows システムのポインティング・デバイス、あるいは Wintab と互換性のあるデジタイザとして AuotoCAD でサポートされています。初期設定で、AutoCAD ではシステムポインティングデバイスとして Intuos3 が使用できるように設定されています。タブレットメニューがある Intuos3 を使用して、正確な縮尺で図面を電子化する場合、以下の手順に従ってください。

補足：AutoCAD あるいは類似するアプリケーションで左手で使用するようにレンズカーソルあるいはマウスを構成するには、タブレットのコントロールパネルを開いて、「オプション」をクリックし、「Handedness」で「Left」を選択します。

WINTAB と互換性のあるデジタイザに対する AUTOCAD の設定

1. AutoCAD を起動します。「ツール」メニューを開き、「オプション」を選択します。
2. 「オプション」ウィンドウから「システム」タブを選択します。
3. 「現在使用中のポインティングデバイス」で、「オプション」を選択します。
4. AutoCAD がどのデバイスからの入力を受けるかを決めます。「入力の受け入れ」セクションからオプションを選択します。

・ 「デジタイザのみ」AutoCAD 図面には、Intuos3 からだけ入力できます。
・ 「デジタイザとマウス」AutoCAD 図面には Intuos3 と通常のマウスの両方から入力できます。

5. 「OK」をクリックして「オプション」ウィンドウを閉じます。

AUTOCAD におけるタブレットメニューとスクリーンポインティングエリアの設定

システムポインタが操作できるタブレット上の長方形の領域がスクリーンポインティングエリアです。スクリーンポインティング領域の中では、AutoCAD の作図領域外にあるウィンドウやメニューやその他のアプリケーションに対して操作することができます。固定または浮動スクリーンポインティング領域の設定も可能です。

タブレットの設定を行う前は、タブレット有効領域全体が固定スクリーンポインティング領域に設定されています。AutoCAD アプリケーションは、タブレット上の小さな領域がモニタスクリーンにマッピングされるよう固定スクリーンポインティング領域のサイズを変更することを推奨しています。さらにそれが提供するデフォルトタブレットメニューや行、列を設定することを薦めています。

タブレットメニューの設定後、AutoCAD は固定あるいは浮動スクリーンポインティング領域の設定を促します。これにより、タブレットの領域をウィンドウズシステムのポインタとして設定することができます。

固定スクリーンポインティング領域は、タブレットモードをオンにして AutoCAD でポイントをタブレットから入力しているときは使うことができません。これはタブレットと AutoCAD の作図領域が 1 対 1 で対応しているからです。タブレットからメニューを利用するには、フローティングスクリーンポインティングエリアを使用する必要があります。これにより、タブレット操作面のどこからでもメニューにアクセスして、終了したらオフに切り替えることができます。ツールボタンを浮動スクリーン領域のオンとオフを切り替えるようにも定義できます。

重要：浮動スクリーンポインティング領域は、メニューエリア、タブレットモードオン、固定スクリーンポインティング領域より優先されます。

1. AutoCAD 図面から「ツール」メニューを開きます（Release13 では「オプション」メニュー）。
2. 「タブレット設定」、次に「メニュー領域設定」を選択します。
3. タブレットメニューエリアを定義します。AutoCAD 図面の下にコマンドウィンドウが表示されます。タブレットメニューの番号（0-4）を入力して、「Enter」を押します。メニューテンプレートを使用しない場合は「0」を入力します。メニューエリアの左上隅、左下隅、右下隅をデジタイズして「Enter」を押します。次に、列の番号を入力して「Enter」を押します。行の番号を入力して「Enter」を押します。各メニューエリアに対して繰り返します。
4. 固定スクリーンポインティング領域を定義します。初期設定では、タブレット全体が固定スクリーンポインティングエリアです。メニューテンプレートを使用する場合、テンプレートに合うように固定スクリーンポインティング領域を再度指定します。AutoCAD 図面画面下のコマンドウィンドウのメッセージに従ってください。
5. 浮動スクリーンポインティング領域を定義します。それにより、画面の領域すべてにアクセスできます。フローティングスクリーンポインティンエリアは、「タブレットモードオン」、固定スクリーンポインティンエリア、メニューエリアより優先されます。AutoCAD 図面画面下のコマンドウィンドウのメッセージに従います。

詳細は、AutoCAD のユーザーガイド等を参照してください、

AUTOCAD での Intuos3 の位置調整

Intuos3 を使って、図面をデジタル入力する場合、その図面の座標系にあわせて、Intuos3 の位置調整を行う必要があります。位置調整後は、図面上のポインティング位置が正しくデジタル入力され、図面に反映されます。

1. 図面から、「ツール」メニューを開きます。(Release13 の場合「Option」メニュー)
2. 「タブレット設定」と「位置合わせ」オプションを選びます。
   - 紙図面上のポイント #1 をタブレット上から入力（クリック）します。次に入力したポイントに紙図面からの xy 座標を入力します。
   - 紙図面上のポイント # 2をタブレット上から入力（クリック）します。次に入力したポイントに紙図面からの xy 座標を入力します。
   - 必要に応じて複数のポイントを電子化します。4つ以上のポイントをとった場合、AutoCAD がもっとも適切な射影変換を計算するのに予想以上に時間がかかることがあります。
3. 終了したら「Enter」を押します。

Intuos3 がデジタイザとして設定され、調整されたら、Intuos3 をデジタイザとして使用するかまたは Windows システムポインタとして使用するかを「Ctrl」+「T」を使って切替えることができます。

Windows Vista でのペン入力機能

Microsoft Windows Vista（Home Basic を除く）では、ペン入力をサポートしています。Windows Vista（Home Basic を除く）が稼働するコンピュータと、Intuos3 を組み合わせることで Windows Vista の「ペン入力」機能を最大限に活用することができます。さらに Windows Vista、Office2007、Intuos3 を組み合わせることで、効果的な書類作成プレゼンテーション、コミュニケーションを可能にします。

- **手書き文字認識機能**　Windows Vista の「手書き文字認識機能」は、ペンタブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。Tablet PC 入力パネルの使い方については、Windows Vista Tablet PC 入力パネルについてをご覧ください。
- **ジェスチャー機能**　新機能「ペンフリック」はタブレット上でペンを動かすだけで、パソコン操作を可能にします。上下左右斜めの 8 方向へのペンの動きにショートカットなどを設定でき、キーボードを使わずに簡単操作ができます。
- **手書きメモ作成機能**　Windows Vista の「Windows Journal」をペンタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。
- **Office2007 デジタルインク機能**　「2007 Microsoft Office system」の各アプリケーション（Word・Excel・PowerPoint・Outlook）では、ペンタブレットを接続することで、ペンによる手書き文字や図形などを自在に書き込めるデジタルインク機能が使用できます。ファイル上での手書き校正などが可能になります。

補足：描画パフォーマンスを向上させ、Vista で発生する誤ったダブルクリックを最小限に抑えるために、次の回避策がペンタブレットドライバでとられています。

- Wintab API を使用するほとんどのグラフィックアプリケーションで、Vista のペンフリックおよびプレスアンドホールドは、無効になります。
- Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよびプレスアンドホールドの両方の機能を無効にして、Windows Journal や、他の Vista のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。

Windows Vista Tablet PC 入力パネルについて

Windows Vista Tablet PC 入力パネルによって、Intuos3 を使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。以下のいずれかの方法で入力パネルを起動することができます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルのカスタマイズは以下の手順で行います。

1. 初めに、入力パネルを開いて、メニューバーの「ツール」をクリックします。
2. 「オプション」を選択して、入力パネルオプション・ダイアログボックスを開きます。
3. 作業しやすいように、入力パネルの設定をカスタマイズします。

Microsoft Windows Vista および Office 2007 については、システムおよび Microsoft Office アプリケーションに付属の資料を参照ください。

Windows Vista での活用方法については、ワコムのウェブサイト www.wacom.co.jp/vista もご覧ください。

製品仕様

Intuos3 タブレット共通の仕様

読取分解能	0.005mm
読取精度（ペン）	+/- 0.25 mm
読取精度（マウス、マーカー）	+/- 0.5 mm
読取精度（レンズカーソル）	+/-0.15mm
傾き検出角度 （すべてのペン）	+/- 50 ° （PTZ-431W）／ +/- 60 ° （それ以外）
読取可能高さ	6 mm （ペン）／ 5mm（マウス）
読取速度	最高 200 ポイント / 秒
ファンクションキーストローク	約 1 mm
トラックパッド（L x W）	52 x 12 mm
インタフェース準拠規格	USB1.1
コネクタ	USB A タイプ
ケーブル長さ	2.5m
電源電圧／消費電流	5V ／ 300 mA 以下　ホストの USB ポートあるいは電源の入った USB ハブから供給
消費電力	1.5 ワット以下
使用環境	温度：5 ～ 40 ℃ 保管温度：-10 ～ 60 ℃ 湿度：20 ～ 80% （結露がないこと） 保管湿度：20 ～ 90%（結露がないこと）
適合電波規格	VCCI class B

Intuos3 PTZ-431W タブレット

読取可能範囲 （W x D）	157.5 x 98.4 mm
外形寸法 （W x D x H）	270.0 x 216.4 x 13.0 mm
質量	約 800 g

Intuos3 PTZ-630 タブレット

読取可能範囲 （W x D）	203.2 x 152.4 mm
外形寸法（W x D x H）	345.0 x 261.5 x 13.0 mm
質量	約 1000 g

Intuos3 PTZ-631W タブレット

読取可能範囲 （W x D）	271.0x 158.8 mm
外形寸法（W x D x H）	417.6 x 262.0 x 14.0 mm
質量	約 1400g

Intuos3 PTZ-930 タブレット

読取可能範囲 （W x D）	304.8 x 228.6 mm
外形寸法（W x D x H）	439.5 x 340.0 x 14.0 mm
質量	約 1800g

Intuos3 PTZ-1231W タブレット

読取可能範囲 （W x D）	487.6 x 304.8mm
外形寸法（W x D x H）	622.5 x 428.5 x 36.4mm
質量	約 3000g

Intuos3 グリップペン (ZP-501E)

ペン先の動作ストローク	約 0.2 mm 以下
筆圧レベル	1024 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x D)	174.8 x 14.8 mm
質量	約 17 g

Intuos3 マウス (ZC-100)

外形寸法 (L x D x H)	112.2 x 58.2 x 38.2 mm
質量	約 103 g
ボタンの動作ストローク	約 1.3 mm
ホイールのタイプ	回転式、1 周 24 ピッチ

Intuos3 エアブラシ (ZP-400E)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
ホイールの回転ストローク	10 mm
ホイールの回転検出レベル	1024 レベル
筆圧レベル	1024 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x W x D)	162.5 x 17.5 x 32.5 mm
質量	約 23 g

エアブラシはオプション品です。

Intuos3 インクペン (ZP-130)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	1024 レベル
外形寸法 (L x D)	151.5 x 12.5 mm
質量	約 12 g

インクペンはオプション品です。

Intuos3 マーカー（ZP-600）

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	1024 レベル
外形寸法 (L x W x D)	146.7 x 15.5 x 12.5 mm
質量	約 14 g

マーカーはオプション品です。

Intuos3 クラシックペン（ZP-300E）

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	1024 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x D)	150.7 x 12.2 mm
質量	約 12 g

クラシックペンはオプション品です。

Intuos3 レンズカーソル（ZC-210）

外形寸法 (L x D x H)	159 x 66 x 33.8 mm
質量	約 75 g
ボタンの動作ストローク	約 1.3 mm 以下

レンズカーソルはオプション品です。Intuos3 PTZ-1231W タブレットで使うことができます。

ワコムのタブレット製品は、欧州連合 RoHS 指令（2002/95/EC）に対応しています。

製品情報

筆圧、傾き、消しゴム、Intuos3 タブレットとデバイスのその他の特別な機能をサポートするソフトウェアアプリケーションについてはワコムのホームページをご覧ください。http://tablet.wacom.co.jp/

部品と付属品の注文

Intuos3 はクリエイティブな仕事に携わる方には最適なデバイスです。Intuos3 グリップペンやその他のオプションデバイスを組み合わせ、イラスト作成や画像編集を行うことができます。Intuos3 グリップペンやオプションデバイスにはそれぞれ固有のデバイス ＩＤ が書き込まれ、それぞれに設定を記憶することも可能です。Intuos3 の機能を最大限に使いこなすために次のページに説明される付属品もご覧下さい。これらのオプションデバイスやその他部品を購入するには、ワコムのホームページをご覧下さい。
http://tablet.wacom.co.jp

Intuos3 グリップペン（ZP-501E）：消しゴム機能付き筆圧ペン。筆圧と傾きを検出します。ペンは電池レスでコードレスでメンテナンスフリーで幅広い用途を持つグリップペン。マウス操作はもちろんのこと描画作業や細かい作業に最適な Intuos3 の標準的なデバイスです。テールスイッチや２つのサイドスイッチにはショートカットやキーの割り当てが可能です。エルゴノミクスデザインで握りやすいラバーグリップが自然な描画を実現します。

Intuos3 マウス（ZC-100）： Intuos3 マウスは電池レスでコードレスでメンテナンスフリー。５つのボタンを備えたマウスは通常のマウス作業がタブレット上で行える理想的なマウスデバイスです。中央部には中ボタンと上下のスクロールに便利な回転ホイールが装備されており、ボタンにはそれぞれ様々なキーストロークやショートカットなどの割り当てが可能です。

Intuos3 エアブラシ（ZP-400E）：Intuos3 エアブラシは筆圧検出、消しゴム機能だけでなくホイール機能を搭載したペンです。アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業をすることができます。

Intuos3 インクペン（ZP-130）：インクペンは筆圧と傾きを検出します。インクペンはコンピュータ画面だけでなく紙に描かれたものをすぐに提供できるようにと作成されました。インクペンには、黒のボールペン芯と、インクを使わずに描画するための２つのポリアセタールの芯が付属しています。インクペンには筆圧を検出するペン先が備わっていますが、消しゴムとサイドスイッチはありません。

補足：インクペンを購入すると、ポリアセタールの芯が付属しています。ペン先をピンセットなどを使用して、空のペン先をペンからそっと引き抜きます。次に、インクペンに付属する銀色のボールペン芯を挿入します。ボールペン芯のペン先はワックスコートされています。インクを出し始める前に剥がしてください。

Intuos3 マーカー (ZP-600)：Intuos3 マーカーは筆圧、傾き検出と回転機能に対応したペンです。ペン軸の回転を検出することによりカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現します。幅広いニブを装備したペン先描く感覚はアナログのマーカーそのものです。

Intuos3 クラシックペン（ZP-300E）：Intuos3 グリップペンと同じ機能を持つペン軸の細いペンです。

Intuos3 レンズカーソル (ZC-210)：PTZ-1231W タブレットで使用可能です。レンズカーソルは、正確な座標位置を入力するデバイスです。図面のトレースやデジタル化、CAD 処理、ベクトル設計などの正確な座標情報の入力が必要なアプリケーションにとっては、最適なデバイスです。レンズは、作業中、左から右へと使いやすい位置へ移動させることができます。

他の部品と付属品

	種類
	ペンスタンド ペンを使わないとき、立てておいたり横にしておくことができます。
	替え芯 (グリップペン、エアブラシ、クラシックペン用) 標準芯（白） 標準で装備されている白い芯です。
	ストローク芯 ストローク芯にはバネが使用されています。このため、グリップペン、エアブラシあるいはをクラシックペンを使って作業すると、感触の良さが加わります。ストローク芯の色はグレーで、標準のペン芯と同じように 取り付けられます。芯を交換するをご覧ください。
	フェルト芯 摩擦係数が高く、より鉛筆に近い感触が得られます。
	Intuos3 グリップペンアクセサリキット ラバーグリップ Intuos3 グリップペン用。サイドスイッチ用穴有りタイプと穴無しタイプの 2 種類。

注文については、部品と付属品の注文をご覧ください。

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。

以下のホームページをご覧ください。

http://tablet.wacom.co.jp/store/wacomclub/

製品の保証について

ハードウェアの保証

取扱説明書、および本体添付ラベル等の注意書きに従って正しく使用したにもかかわらず、お買い上げから１年以内に万一ハードウェアが故障した場合には、無償で修理させていただきます。ハードウェアとはタブレット本体とその付属品です。ただし、電子ペンの替え芯などの消耗品と CD-ROM などのメディアは除きます。弊社カスタマーサポートセンターにご連絡いただき、カスタマーサポートセンターが故障を確認しましたら、直接お送りください。

万一、ご購入時点で既に製品に不良があった場合。

(イ) 必ず購入日から１週間以内に弊社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。カスタマーサポートセンターで製品が不良であることが確認された場合に限り、製品の交換をお受けいたします。お客様自身の判断による不良品としての交換、返品は一切応じかねますのでご注意ください。製品の交換の際は、不良内容を明記して販売店にお返しください。

(ロ) １週間以降の場合は、(イ) に準じ、修理扱いとなります。

次にあげる場合には、保証期間中であっても保証の対象とはなりません。

(イ) 誤ったご使用方法による故障、または損傷。

(ロ) 落下などによる故障、または損傷。

(ハ) お客様が改造または修理されたためと認められる故障、または損傷。

(ニ) 災害、あるいは異常電圧などの外部要因による故障、または損傷。

(ホ) 接続している他の機器の故障に起因して本製品に故障を生じた場合。

(ヘ) 保証書の呈示がない場合、または保証書に押印やお買い上げ日など必要事項の記入がない場合、または保証書の字句を書き換えられた場合。

本製品の修理を依頼される場合は、ワコム製以外の機器を取り外してからお送りください。

故障等により製品を弊社に送付いただく場合の費用は、お客様がご負担ください。お客様への返却費用は弊社の負担とさせていただきます。

本保証は日本国内においてのみ有効です。

弊社は本製品の運用を理由とする損失や逸失利益などにつきましては、いかなる責任も負いません。

本保証はここに明示してある期間、条件のもとにおいて本製品の無償修理を行なうことをお約束するものです。したがって本保証によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについては、弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

タブレットドライバについて

タブレットドライバの著作権はワコムにあります。タブレットドライバはワコムのタブレットと共に使用する場合に限り、コピーしたり使用することができ、それ以外の条件ではコピーしたり使用することはできません。

タブレットドライバは、複数のコンピュータにインストールしてご使用いただくことができますが、ワコムが動作保証をするのは、そのうちの 1 台のみとします。

中古品、譲渡品についてはすべての保証はありません。

将来発売される新しい OS およびハードウェアプラットフォームに対して、ワコムはそれに対応したドライバを提供することをお約束はいたしません。また、ドライバの提供を行う場合も、基本的に新しいドライバを販売するものとし、無償での提供はいたしません。

付属のタブレットドライバは、この製品が出荷された時点で最新のものです。その後、品質をさらに向上させたり、市販のコンピュータのハードウェアやオペレーティングシステムが新しくなったときは、それらに対応するため随時バージョンアップを行っています。このようなドライバのバージョンアップについての情報は、弊社のホームページでお知らせいたします。

製品に付属しているドライバに問題があると思われる場合や、コンピュータを買い替えられたことによって、タブレットの動作に問題が起きた場合は、現在お使いのドライバが最新のものかどうかを、弊社サポート窓口にご確認ください。最新版のドライバを入手することにより解決することがあります。

また、弊社はタブレットドライバについて、市販されているすべてのハードウェアやソフトウェアとの間で、一切の問題を起こさずに動作することを保証しておりません。市販されているハードウェアやソフトウェアとの間で問題があった場合は、可能な限り解決のための努力をいたしますが、弊社のみでは解決できない問題もあることをご了承ください。

用語

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているアプリケーションにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなどさまざまな形に変わります。

傾き対応：デバイスが傾く角度を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、傾き対応のアプリケーションで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

クイックポイント：クイックポイントオプションは、タブレットを２つの独立した領域に分割します。描画のための大きな領域と、メニューを選択したり、機能を実行するクイックナビゲーションのための小さな領域です。

クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

消しゴム対応アプリケーション： Intuos3 の消しゴムがサポートされているソフトウェアアプリケーション。アプリケーションのサポートにもよりますが、別のかたちで消しゴムが利用されることがあります。

修飾キー：修飾キーには、Windows では［Shift］、［Alt］、［Ctrl］キーが、Macintosh では、［shift］、［cotrol］、［command］、［option］キーが含まれます。Intuos3 デバイスを修飾キーをシミュレートするようにカスタマイズすることができます。

縦横比：タブレット、またはモニタ画面の縦と横の比率。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にするコントロールパネルの機能。

ダブルクリック距離： ペン先でダブルクリックするときに、２回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックアプリケーションによっては、線の引き始めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

ダブルクリック速度： ダブルクリックの２回目のクリックが１回目から遅れてもよい時間の設定。遅くするとペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックアプリケーションによっては、線の引き始めに「ダブルクリックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

通常：「タブレットの向き」の設定です。タブレットを通常（横向き）に置くと、ステータスランプの位置はタブレットの上部になります。長方形のタブレットは横に置きます。時計回り 90° もご覧ください。

デジタルインク：コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書きのコンテンツには、画像、インク・マークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボード入力されたテキストに変換するか、手書きのままで使用することができます。システムおよびアプリケーションの設定に応じて、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換するようにもできますし、最後にまとめて変換することもできます。

デバイス ID：Intuos3 デバイスひとつひとつに書き込まれている ID。２つの同一のペンで作業する場合、タブレットは、各デバイスを個別に認識します。これは、ペンをカスタマイズする場合に特に役立ちます。

時計回り 90° ： タブレットの「向き」の設定。タブレットを**時計回り 90°**（縦向き）に置くと、ステータスランプの位置は横側になります。長方形のタブレットは縦に置きます。通常もご覧ください。

特定のアプリケーションに対する設定：アプリケーションごとに Intuos3 デバイスとタブレットの設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のアプリケーションで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のアプリケーションに対する設定は、設定したアプリケーションを使用すると必ず実行されます。特定のアプリケーションに対する設定をご覧ください。

ピクセル：モニタ画面上の最小の測定単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のアプリケーションで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応アプリケーション：筆圧をサポートするアプリケーション。

ペンモード ：ポインタの位置決めの方法。Intuos3 デバイスをタブレット上に置くと、画面のポインタは、画面上の対応点にジャンプします。これは絶対座標で、Intuos3 ペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを見つける必要はなく、ポインタをすぐに配置させることがきます。デスクトップを横切るようにポインタを移動させます。マウスモードもご覧ください。

ホイール： Intuos3 マウスとオプション品のエアブラシのコントロールホイール。

ポップアップメニュー：実行可能なキーストローク機能と他の操作を表示するウィンドウ。このメニューを表示するのに、Intuos3 デバイスとタブレットのボタンをカスタマイズします。

マウスの加速：Intuos3 デバイスが マウスモードのとき、ポインタの加速を調節することができます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。Intuos3 デバイスをタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。
これは相対位置で、Intuos3 マウスの標準設定です。 ペンモードもご覧ください。

マウス速度：Intuos3 デバイスがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節することができます。

マッピング：タブレット上の Intuos3 デバイスの位置とモニタ画面上のポインタの位置との関係。

入力エリア：Intuos3 デバイスが検出されるタブレットの描画領域。

読み取り高さ：Intuos3 デバイスが検出されるタブレットの操作面からの高さ。 ポインタの移動 もご覧ください。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Vista Tablet PC 入力パネルで、Intuos3 ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。入力パネルは、手書き文字をテキストに変換します。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。 Windows Vista でのペンおよびデジタルインク機能をご覧ください。

USB：Universal Serial Bus コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェースの基準。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows アプリケーション。例えば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、様々な Intuos3 ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows アプリケーションによって使用されるインタフェースの基準。
Intuos3 は、Windows 環境で Wintab と互換性のあるアプリケーションをすべてサポートします。

索　引

あ

新しいデバイスを「入力デバイス」リストに追加する 54
新しい入力デバイスを追加する 54

え

エアブラシ
ペン先の交換 72
持ち方 20

お

オプション品の入力デバイスの特徴 10

か

カスタマイズ
サイドスイッチ 31
ダブルクリック 28
タブレット 46
トラックパッド 48
ファンクションキー 47
タブレットを画面にマッピングする 40
トラックパッド 48
キーストロークの設定 50
ズーム操作の設定 50
スクロールの設定 49
詳細設定 51
ペン 27
ペン先の感触 28
感触の詳細設定 30
ポップアップメニュー 52
マウス 38
ホイール 39
ボタン 38
傾き感度 37
テールスイッチ（消しゴム）の感触 29
感触の詳細設定 30
傾き
傾きを使った描画 16
傾き感度のカスタマイズ 37
画面を見ながらペンを使う 18

き

機能
オプション品の入力デバイス 10
コントロールパネル 25
タブレット 8

く

クリックの方法 14

け

消しゴムで消す 17
消しゴムの感触のカスタマイズ
感触の詳細設定 30
消しゴムの感触をカスタマイズする 29

こ

コントールパネル
概要 25
タブ 26
リスト 26
開く 24
設定 26

さ

サイドスイッチのカスタマイズ 31
サイドスイッチを使う 15
作業環境を整える 11

し

使用環境 71
縦横比を保持 43
芯の交換 72
診断 60

せ

製品の仕様
タブレット共通 81
製品の情報 83
製品仕様 81
PTZ-431 タブレット 81
PTZ-630 タブレット 81
PTZ-631W タブレット 82
PTZ-930 タブレット 82
PTZ-1231W タブレット 82
インクペン 83
エアブラシ 82
グリップペン 82
マウス 82
製品情報 83

設定
コントロールパネル 26
削除 57
設定の削除 57
そ
ソフトウェア
ドライバダウンロード 70
た
ダブルクリックのカスタマイズ 28
ダブルクリックの方法 14
タブレット
カスタマイズ 46
タブレットを使って作業する 21
テスト 59
トラックパッド
カスタマイズ 48
テスト 61
使う 23
ファンクションキー
カスタマイズ 47
テスト 61
ファンクションキーを使う 22
モードの変更 73
機能 8
操作エリア 44
保管 71
タブレットドライバ
アンインストール 72
タブレットドライバのアンインストール 72
タブレットの向き 41
つ
使う
マウス 19
マウスホイール 19
て
テクニカルサポートの連絡先 69
テスト
タブレット 59
トラックパッド 61
ファンクションキー 61
ペン 62
マウス 63
入力デバイス 60
と
ドライバダウンロード 70
トラックパッド
カスタマイズ 48
キーストロークの設定 50
ズーム操作の設定 50
スクロールの設定 49
テスト 61
使う 23
詳細設定 51
トラブルシューティング
Macintosh の問題 68
Windows の問題 67
一般の問題 64
情報 64
トラブルシューティングの Macintosh の問題 68
トラブルシューティングの Windows の問題 67
トラブルシューティングの一般の問題 64
に
入力デバイスとタブレットのお手入れ 71
入力デバイスのテスト 60
入力デバイスの持ち方
ペン 12
入力デバイスの特徴 9
入力デバイスを使う
ペン 12
マウス 19
マウスホイール 19
ひ
筆圧を使って描く 16
表示エリア 42
描画
傾きを使う 16
筆圧を使う 16
ふ
付属品と部品
注文 84
部品と付属品
他の部品と付属品 , 付属品と部品
他の部品と付属品 85
注文 84
部品と付属品の注文 84
複数
タブレットのインストール 73
複数タブレットのインストール 73
複数モニタにタブレットを割り当てる 45
へ
ペン
テスト 62

ペン
カスタマイズ 27
クリック 14
サイドスイッチを使う 15
ダブルクリックする 14
ドラッグする 14
ペンの持ち方 12
ペンを使う 12
ペン先の交換 72
ポインタの移動 13
消しゴムを使う 17
描画
傾きを使う 16
筆圧を使う 16
ペンでクリックする 14
ペンでドラッグする 14
ペンモード 40
ペン先の感触のカスタマイズ 28
ペン先の交換 72
ほ
ポインタの移動 13
ボタン機能 32
ポップアップメニューのカスタマイズ 52
本書について 5
ま
マウス
カスタマイズ 38
テスト 63
ボタンのカスタマイズ 38
マウスを使う
ホイールを使う 19
使う 19
ホイール 19
マウスホイール
カスタマイズ 39
使う 19
マウスモード 41
マウス、ホイール
マウス、マウスホイールを使う 19
マッピングのカスタマイズ 40
も
モード 40
持ち方
エアブラシ 20
よ
読み取り高さ 13

WACOM INTERNATIONAL OFFICES

株式会社ワコム

〒 349-1148
埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台 2 丁目 510 番地 1
インターネット：
http://www.wacom.co.jp
カスタマーサポートセンター
Telephone：0570-05-6000
受付時間　平日 9:00 ～ 20:00
土曜 10:00 ～ 17:00

Wacom Technology Corporation

1311 S.E. Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone
General: +1.360.896.9833
Fax: +1.360.896.9724

Wacom China Corporation

1108 Block One, Kuntai International Bldg
12 Chao Wai Street, Chao Yang District,
Beijing, China 100020
Telephone
General: +86.10.5879.0880
Fax: +86.10.5879.0102

Wacom Australia Pty. Ltd.

Level 5, 18 Orion Rd,
Lane Cove West NSW 2066, Australia

Telephone
General: +61.2.9422.6700
Fax: +61.2.9420.2272

Wacom Co., Ltd.

Asia Pacific Office
Harmony Tower 18F, 1-32-2 Hon Cho,
Nakano-Ku, Tokyo 164-0012
Japan
Telephone
General: +81.3.5309.1513
Fax: +81.3.5309.1514

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9
47807 Krefeld
Germany
Telephone
General: +49.(0)2151.3614.0
Fax: +49.(0)2151.3614.111

Wacom Digital Solutions Co., Ltd.

Gangnam Telepia B/D 9th Fl, 662-18
Yeoksam-dong, Gangnam-gu, Seoul, 135-080
Korea
Telephone
General: +82.2.557.3894
Fax: +82.2.557.3895

Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)

3 Bishan Place,
CPF Bishan Building #06-08
Singapore 579838
Telephone
General: +65.6258.8640
Fax: +65.6258.8697